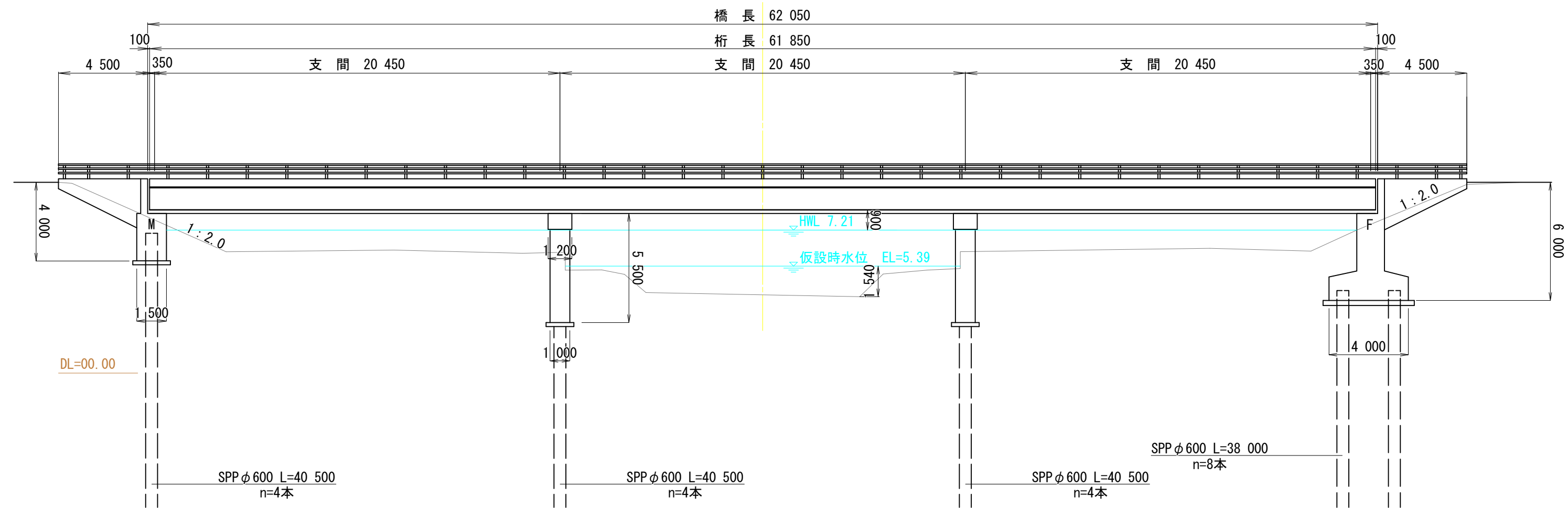


橋梁一般図

【湖南橋】

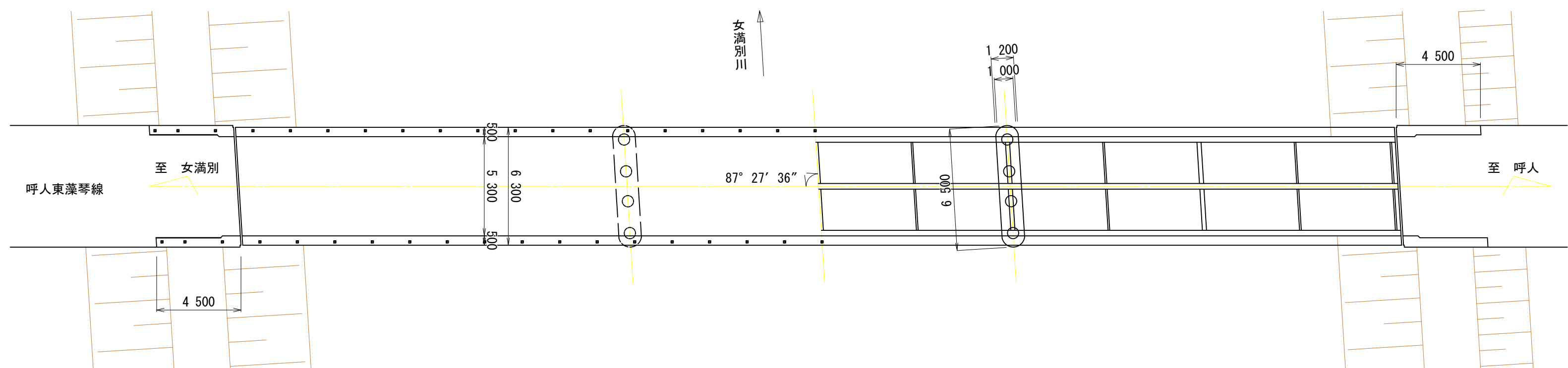
側 面 図

S=1/200

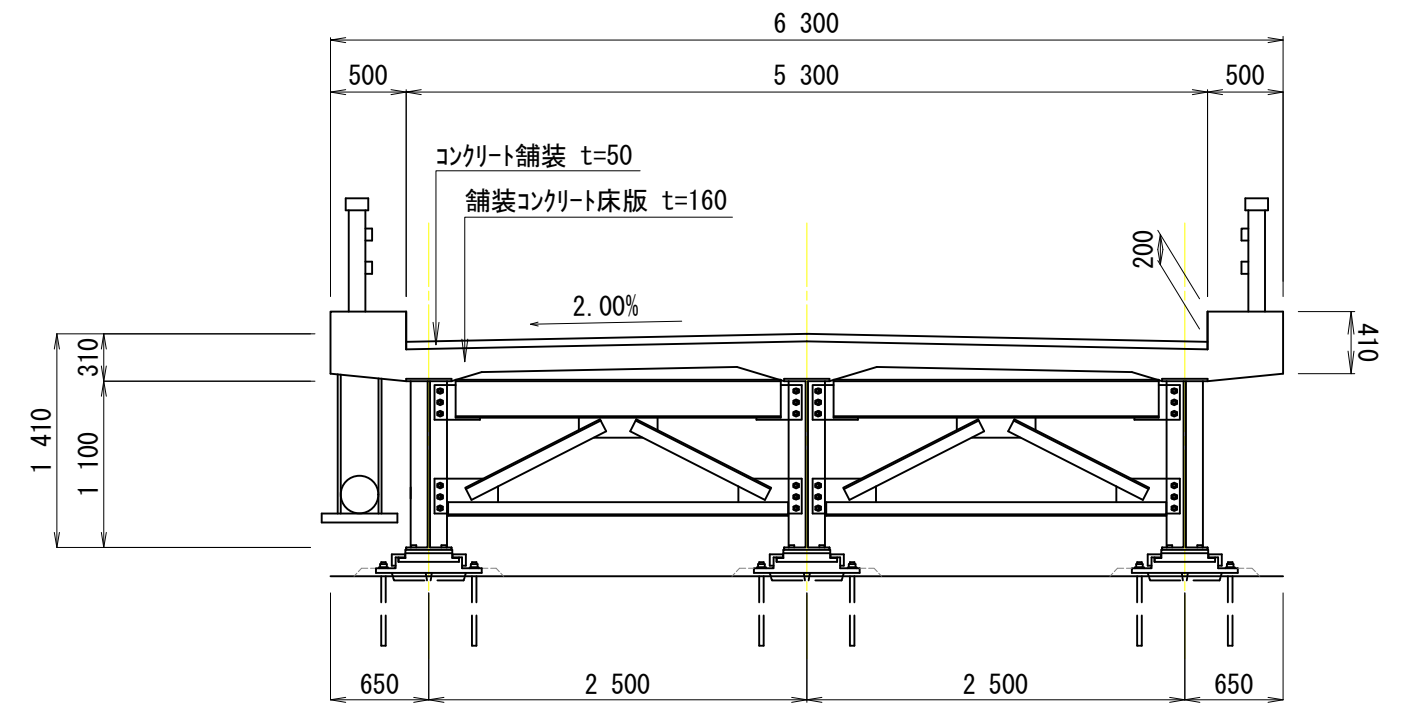


平面図

S=1/200



断面図
S=1/50



橋梁諸元表

橋 梁 名	湖南橋		
路 線	呼人東藻郷線		
交 差 物	女満別川		
竣工年	上部工	1977年	
	下部工	1977年	
示 方 書	昭和47年示方書		
活 荷 重	TL-14 (S31)		
橋 長	62.050m		
桁 長	61.350m		
支 間	20.450m @ 3		
全 幅 員	6.300m		
有効幅員	5.300m		
上部工型式	3径間連続プレートガーダー		
下部工型式	逆 T 式橋台		
基礎形式	杭基礎		
支 承	鋼支承		
伸縮装置	突合せ型		
平面線形	87° 27' 36"		
縦断勾配	横断勾配	LEVEL	2.0%

※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。

【湖南橋】

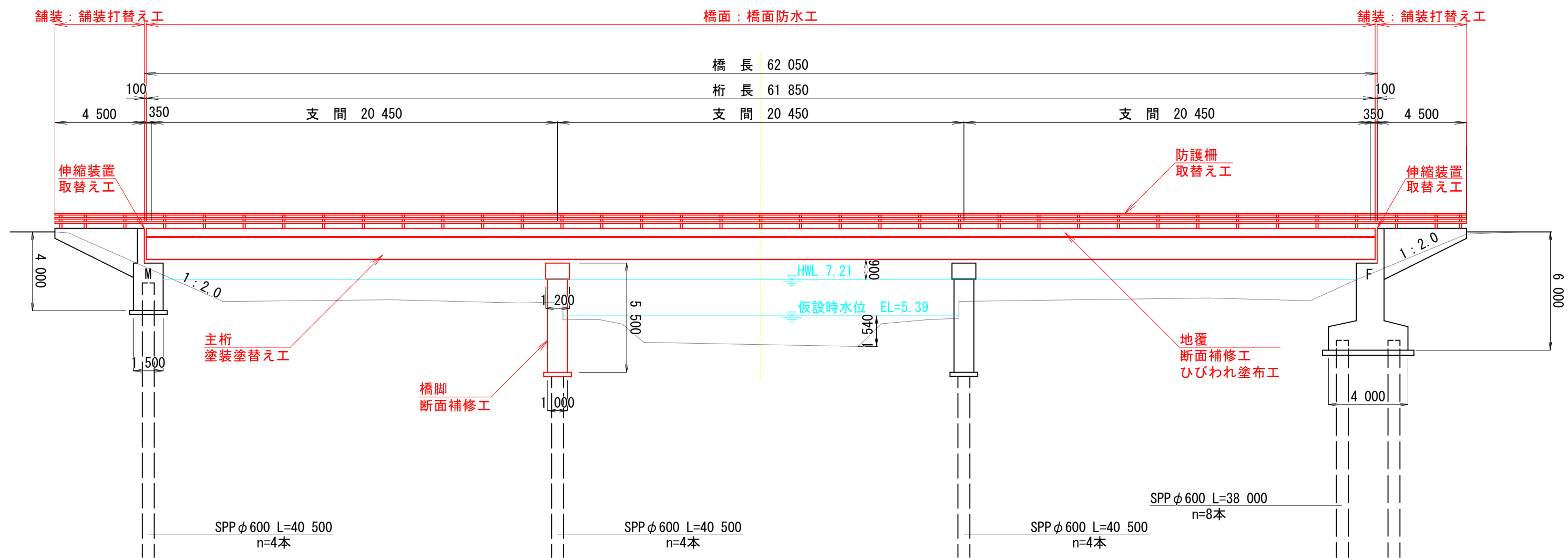
年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託（緑越）		
図 面 名	橋 梁 一 般 図		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北杜設計		
網 走 市 役 所			

補修一般図

【湖南橋】

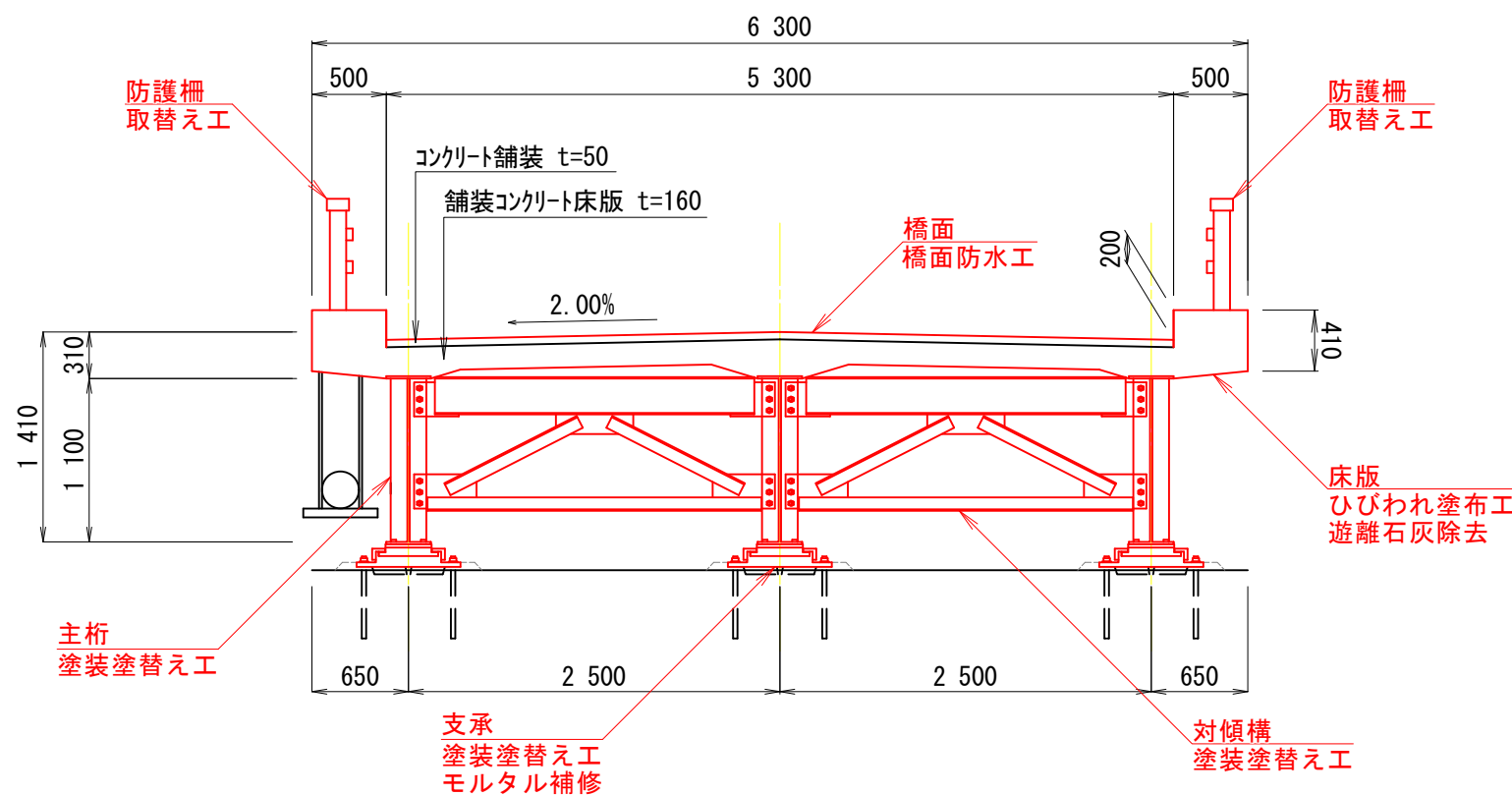
側面図

S=1/200



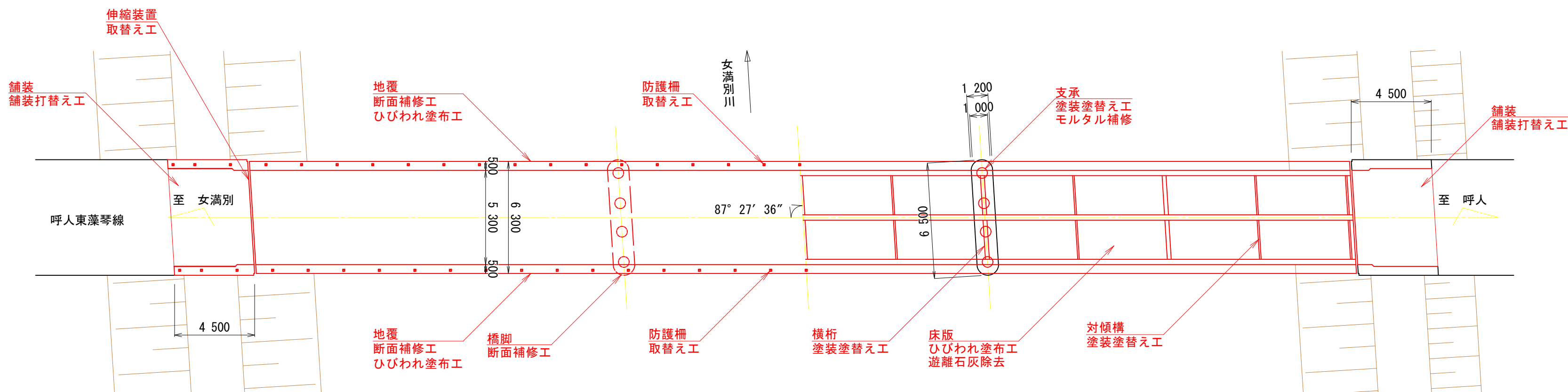
断面図

S=1/50



平面図

S=1/200



橋梁諸元表

橋 梁 名	湖南橋		
路 線	呼人東藻琴線		
交 差 物	女満別川		
竣工年	上部工	1977年	
	下部工	1977年	
示 方 書	昭和47年示方書		
活 荷 重	TL-14 (S31)		
橋 長	62.050m		
桁 長	61.350m		
支 間	20.450m @ 3		
全 幅 員	6.300m		
有効幅員	5.300m		
上部工型式	3径間連続プレートガーダー		
下部工型式	逆 T 式橋台		
基礎形式	杭基礎		
支 承	鋼支承		
伸縮装置	突合せ型		
平面線形	87° 27' 36"		
縦断勾配	横断勾配	LEVEL	2.0%

※注意事項

1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。

【湖南橋】

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻等線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(繰越)		
図 面 名	補 修 一 般 図		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

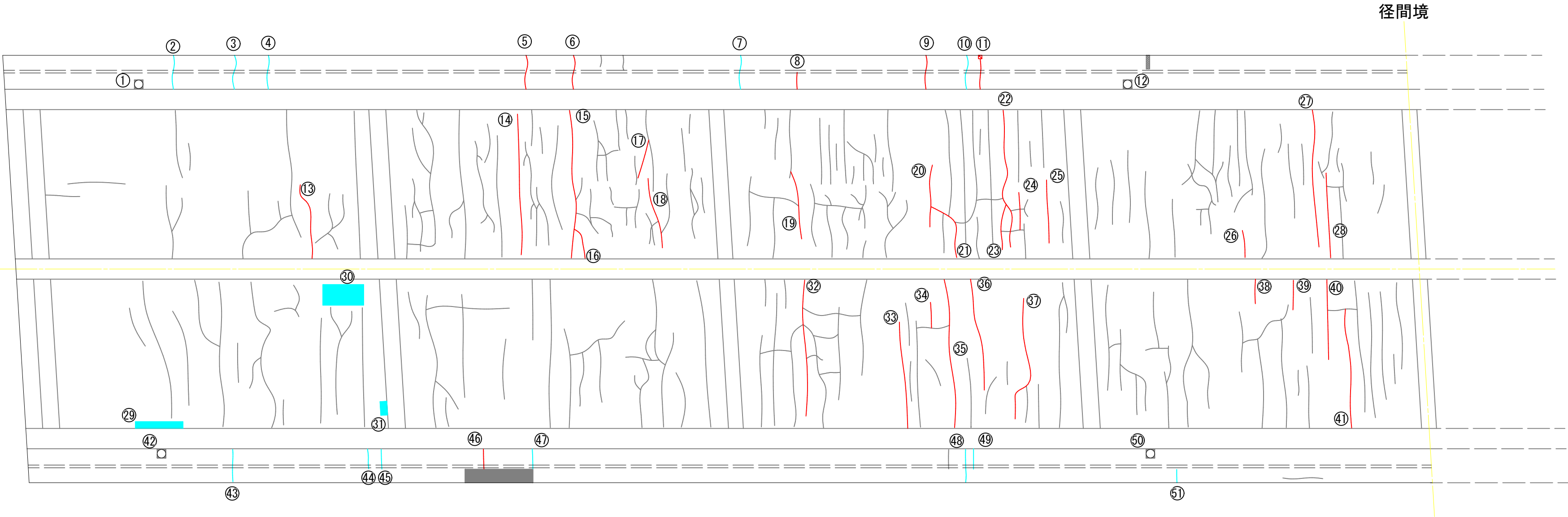
遊離石灰除去 面積集計表					
床版所	番号	延長 (mm)	幅 (mm)	面積 (m2)	塗布材の有無
左側張出部	①	440	100	0.04	
	②	500	100	0.05	有
	③	500	100	0.05	有
	④	500	100	0.05	有
	⑦	500	100	0.05	
	⑩	500	100	0.05	
	⑫	440	100	0.04	
小計		3 380	100	0.33	
G 2 ～ G 3	⑳	700	100	0.07	
	㉑	600	300	0.18	
	㉒	500	100	0.05	
小計		1 800	170	0.30	
右側張出部	㉔	440	100	0.04	
	㉕	500	100	0.05	
	㉖	250	100	0.03	
	㉗	250	100	0.03	
	㉘	250	100	0.03	有
	㉙	500	100	0.05	有
	㉚	200	100	0.02	
	㉛	440	100	0.04	
小計		3 030	100	0.29	
合計		8 010	120	0.92	

ひびわれ塗布工法 数量集計表

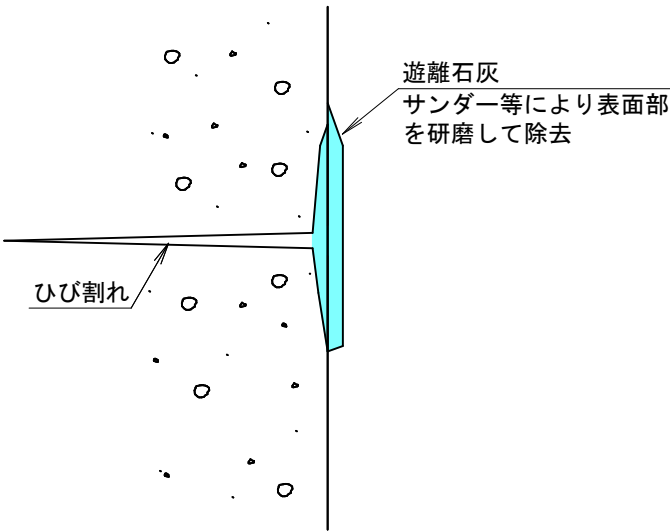
番号	延長 (mm)	幅 (mm)
②	500	0.20
③	500	0.20
④	500	0.20
㉔	250	0.20
㉕	500	0.20
ひびわれ	33 600	0.21
合計	35 850	0.21

※遊離石灰発生箇所はひびわれ幅0.20mmを想定して算出。

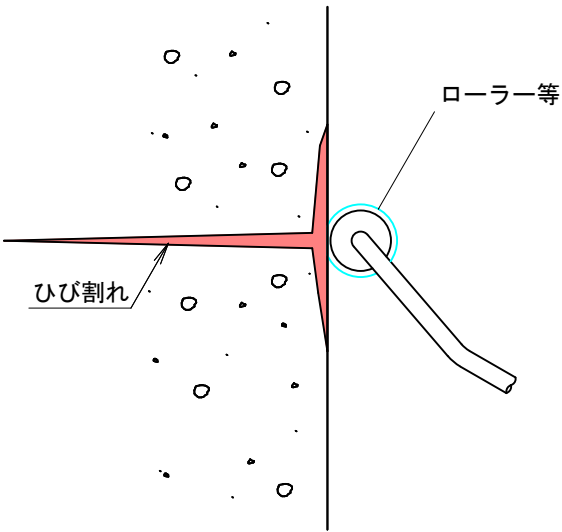
呼人東藻琴線
至 女満別



遊離石灰除去詳細図



ひび割れ塗布工法詳細図



施工手順	
事前調査	ひび割れ幅、延長の計測
下地処理	ダスター刷毛、エラスプレー等でひび割れを清掃する
塗布・充填・液寄せ	ひび割れへの浸透を自視確認しながらローラー等で数回繰り返す
養生	施工後、1時間程度は雨水に洗い流されない様に養生する
仕上げ・清掃	

- ※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。
 2. 遊離石灰発生箇所は下地処理にて遊離石灰を除去してから施工すること。
 3. 施工時は外気5℃以上で施工を行うこと。

【湖南橋】			
年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(線越)		
図 面 名	床 版 補 修 工 図 (1)		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北杜設計		
網 走 市 役 所			

遊離石灰除去 面積計算表					
主 番 号	番 号	延 長 (mm)	幅 (mm)	面 積 (m2)	注材 の有無
左側 張出部	①	500	100	0.05	有
	③	500	100	0.05	
	④	300	100	0.03	有
	⑤	440	100	0.04	
	⑥	500	100	0.05	
小 計		2 240	100	0.22	
G 2 ～ G 3	①	1 050	100	0.05	
小 計		1 050	100	0.11	
右側 張出部	27	500	100	0.04	
	28	500	100	0.04	
	29	250	100	0.04	
	30	440	100	0.05	
	31	350	100	0.03	
	32	500	100	0.03	
	33	200	100	0.03	
	34	300	100	0.03	
	35	300	100	0.02	
	小 計	3 340	100	0.36	
合 計		6 630	100	0.67	

ひびわれ塗布工法 数量集計表

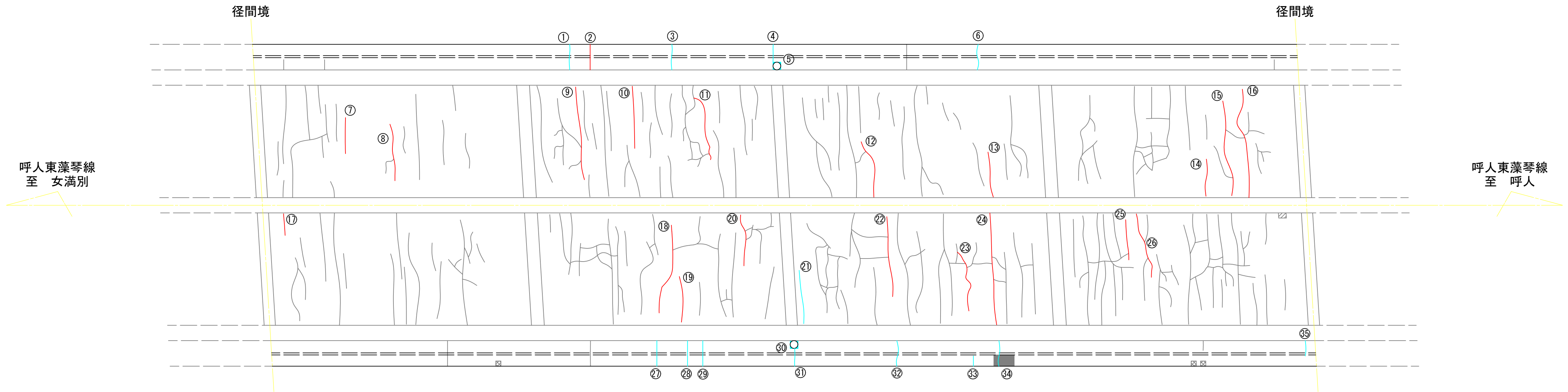
番 号	延 長 (mm)	幅 (mm)
①	500	0.20
④	300	0.20
ひびわれ	24 600	0.21
合 計	25 400	0.21

※遊離石灰発生箇所はひびわれ幅0.20mmを想定して算出。

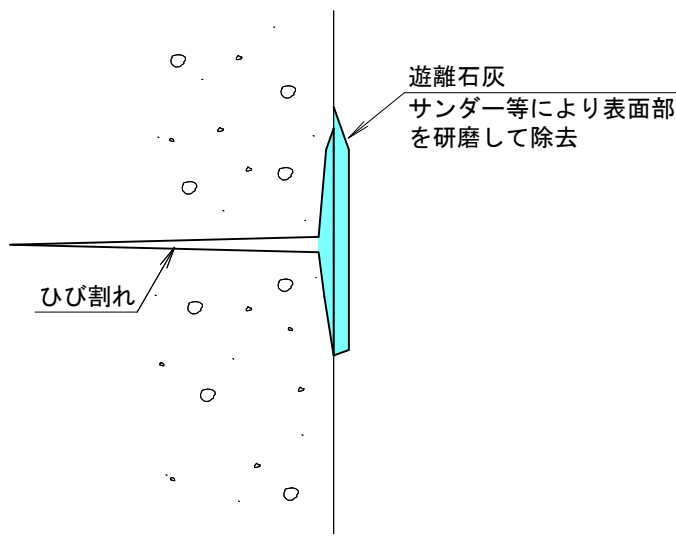
床版補修工図（2）

【第2径間】

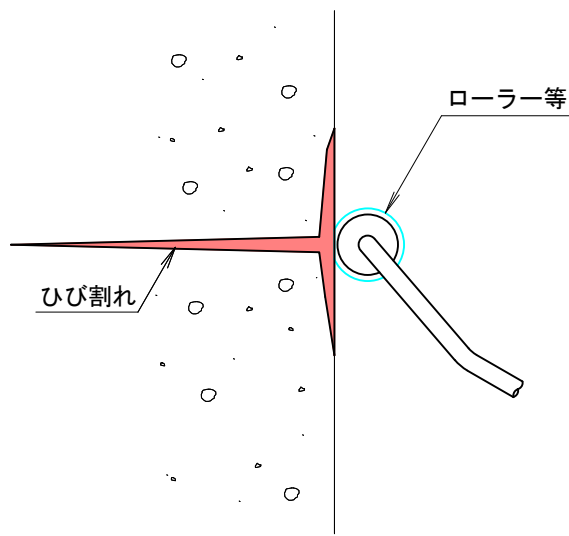
ひびわれ 数量計算表				
主 番 号	番 号	延 長 (mm)	幅 (mm)	
左側 張出部	②	500	0.20	
小 計		500	0.20	
G 1 ～ G 2	⑦	700	0.25	
	⑧	1 100	0.20	
	⑨	1 800	0.25	
	10	1 200	0.25	
	11	1 300	0.20	
	12	1 150	0.20	
	13	900	0.20	
G 2 ～ G 3	14	750	0.20	
	15	1 900	0.20	
	16	2 200	0.20	
	小 計	13 000	0.22	
G 2 ～ G 3	17	400	0.20	
	18	1 800	0.20	
	19	900	0.20	
	20	1 000	0.20	
	22	1 550	0.20	
	23	1 250	0.20	
	24	2 150	0.20	
	25	800	0.20	
	26	1 250	0.20	
小 計		11 100	0.20	
合 計		24 600	0.21	



遊離石灰除去詳細図



ひび割れ塗布工法詳細図



施 工 手 順	
事前調査	ひび割れ幅、延長の計測
下地処理	ダスター刷毛、エスプレー等でひび割れを清掃する
塗布・充填・液寄せ	ひび割れへの浸透を自視確認しながらローラー等で数回繰り返す
養生	施工後、1時間程度は雨水に洗い流されない様に養生する
仕上げ・清掃	

- ※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。
 2. 遊離石灰発生箇所は下地処理にて遊離石灰を除去してから施工すること。
 3. 施工時は外気5℃以上で施工を行うこと。

【湖南橋】			
年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託（繰越）		
図 面 名	床 版 補 修 工 図（2）		
縮 尺	1 / 50	図面番号	10 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

遊離石灰除去 面積集計表					
主 番 号	番 号	延 長 (mm)	幅 (mm)	面 積 (m2)	注材 の有無
左側 張出部	①	200	100	0.02	
	③	440	100	0.04	
	④	300	100	0.03	
	⑤	300	100	0.03	
	⑥	200	100	0.02	有
	⑨	200	100	0.02	
	⑩	440	100	0.04	
小 計		2 080	100	0.20	
G 2 ～ G 3	㉑	400	100	0.12	
	㉒	1 000	100	0.10	
	㉓	700	100	0.14	
小 計		2 100	100	0.36	
右側 張出部	㉔	440	100	0.04	
	㉕	300	100	0.03	
	㉖	200	100	0.02	有
	㉗	200	100	0.02	有
	㉘	350	100	0.04	
小 計		1 580	100	0.15	
合 計		1 920	130	0.71	

ひびわれ塗布工法 数量集計表

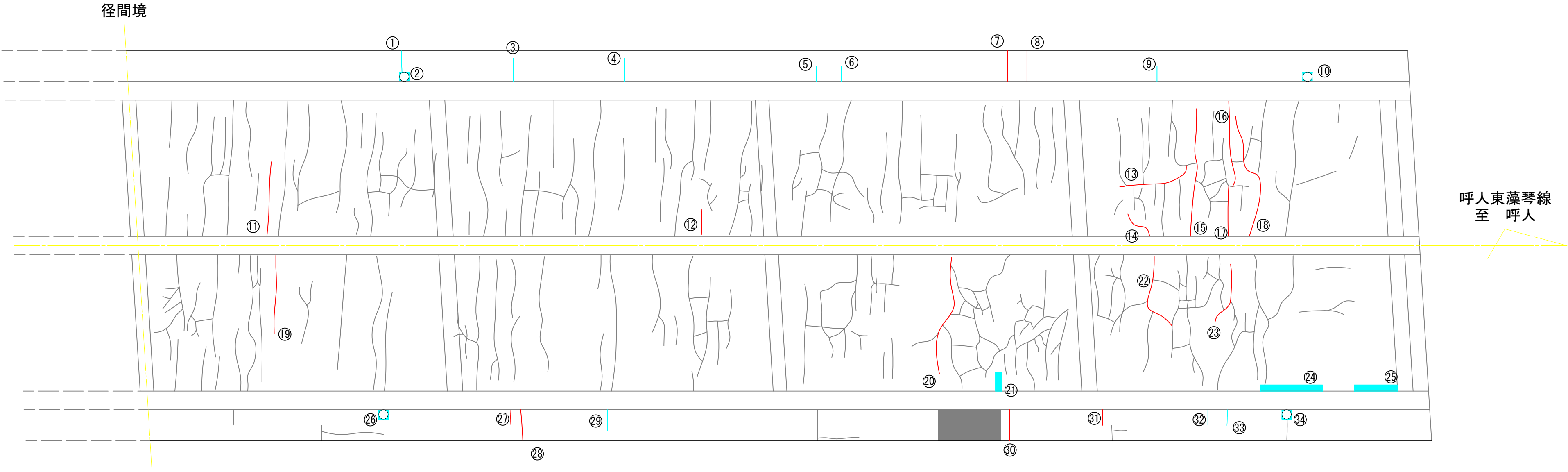
番 号	延 長 (mm)	幅 (mm)
⑥	200	0.20
㉒	200	0.20
㉓	200	0.20
ひびわれ	17 700	0.22
合 計	18 300	0.21

※遊離石灰発生箇所はひびわれ幅0.20mmを想定して算出。

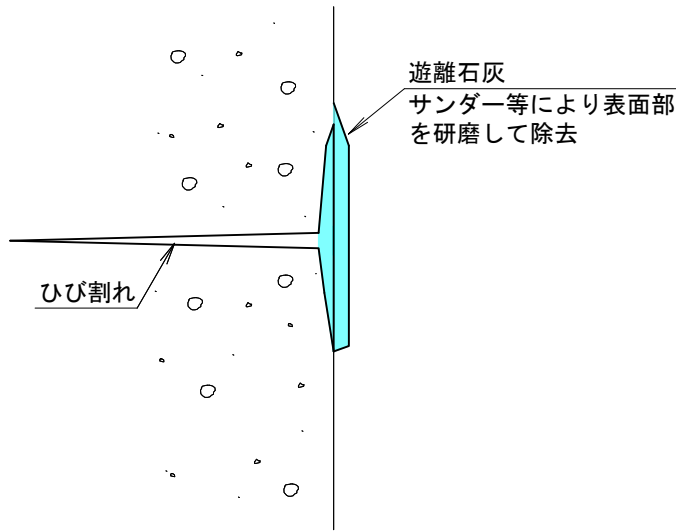
床版補修工図（3）

【第3径間】

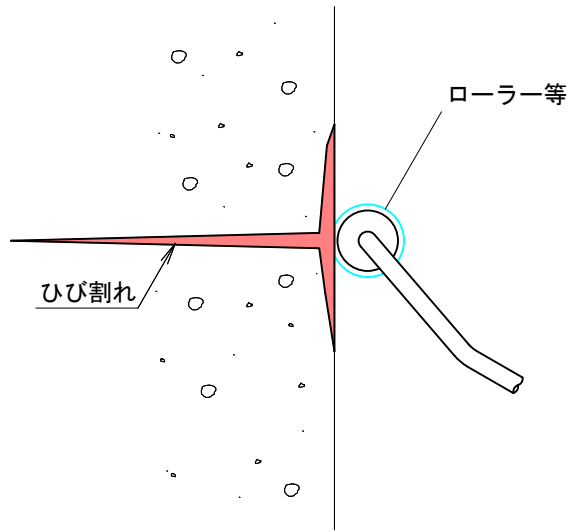
ひびわれ 数量計算表				
主 番 号	番 号	延 長 (mm)	幅 (mm)	
左側 張出部	⑦	500	0.20	
	⑧	500	0.20	
小 計		1 000	0.20	
G 1 ～ G 2	⑪	1 200	0.20	
	⑫	400	0.20	
	⑬	1 200	0.20	
	⑭	550	0.25	
	⑮	2 050	0.20	
	⑯	1 400	0.20	
G 2 ～ G 3	⑰	800	0.20	
	⑱	2 050	0.30	
小 計		9 650	0.22	
G 2 ～ G 3	⑲	1 200	0.25	
	⑳	1 950	0.20	
	㉑	1 300	0.20	
	㉒	1 000	0.20	
小 計		5 450	0.21	
	⑲	300	0.20	
	㉑	500	0.20	
	㉒	500	0.25	
	㉓	300	0.30	
小 計		1 600	0.23	
合 計		17 700	0.22	



遊離石灰除去詳細図



ひび割れ塗布工法詳細図

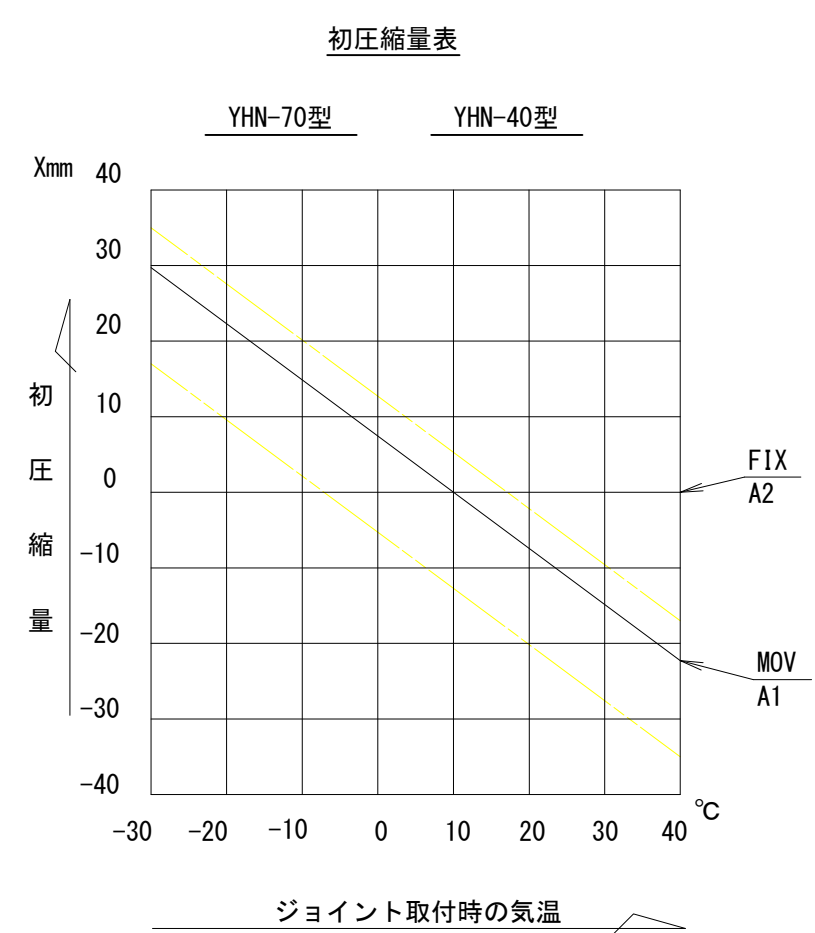
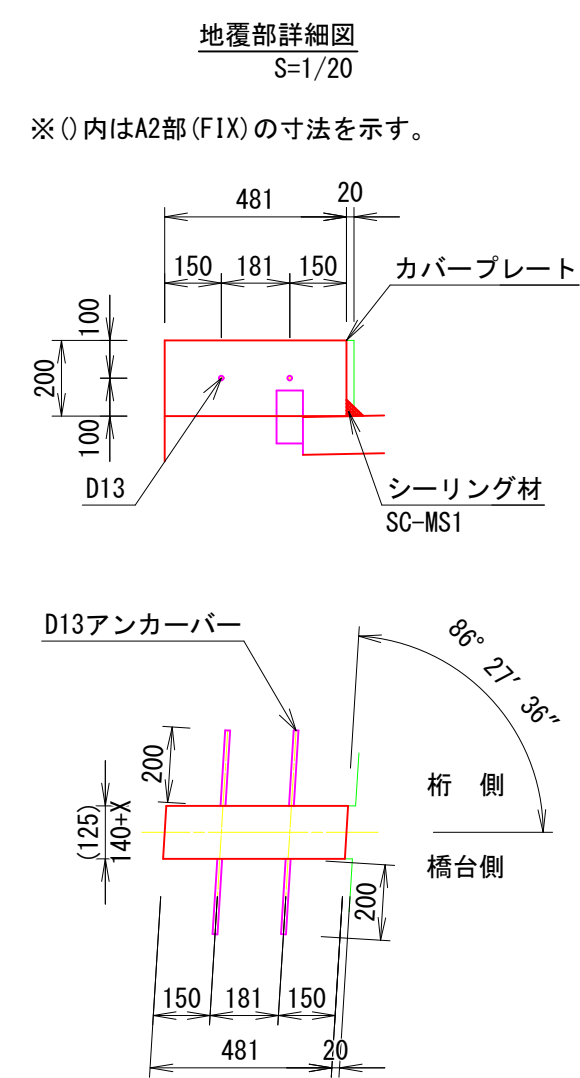
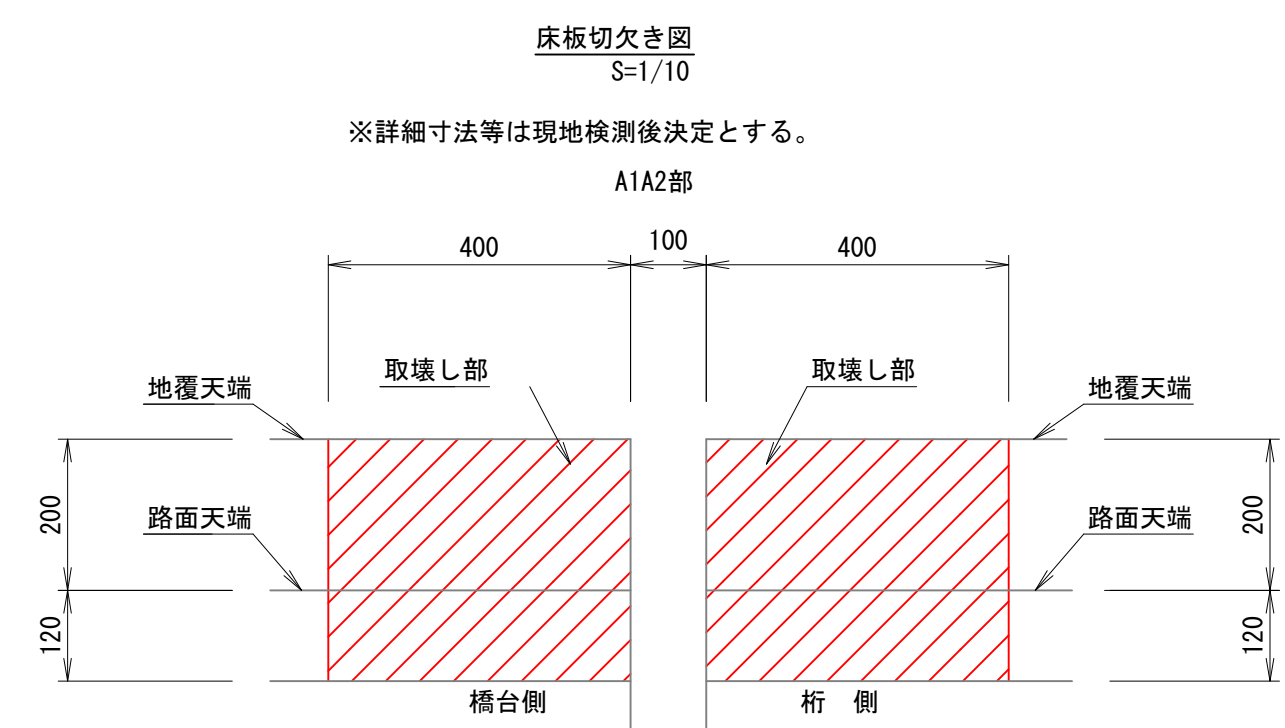
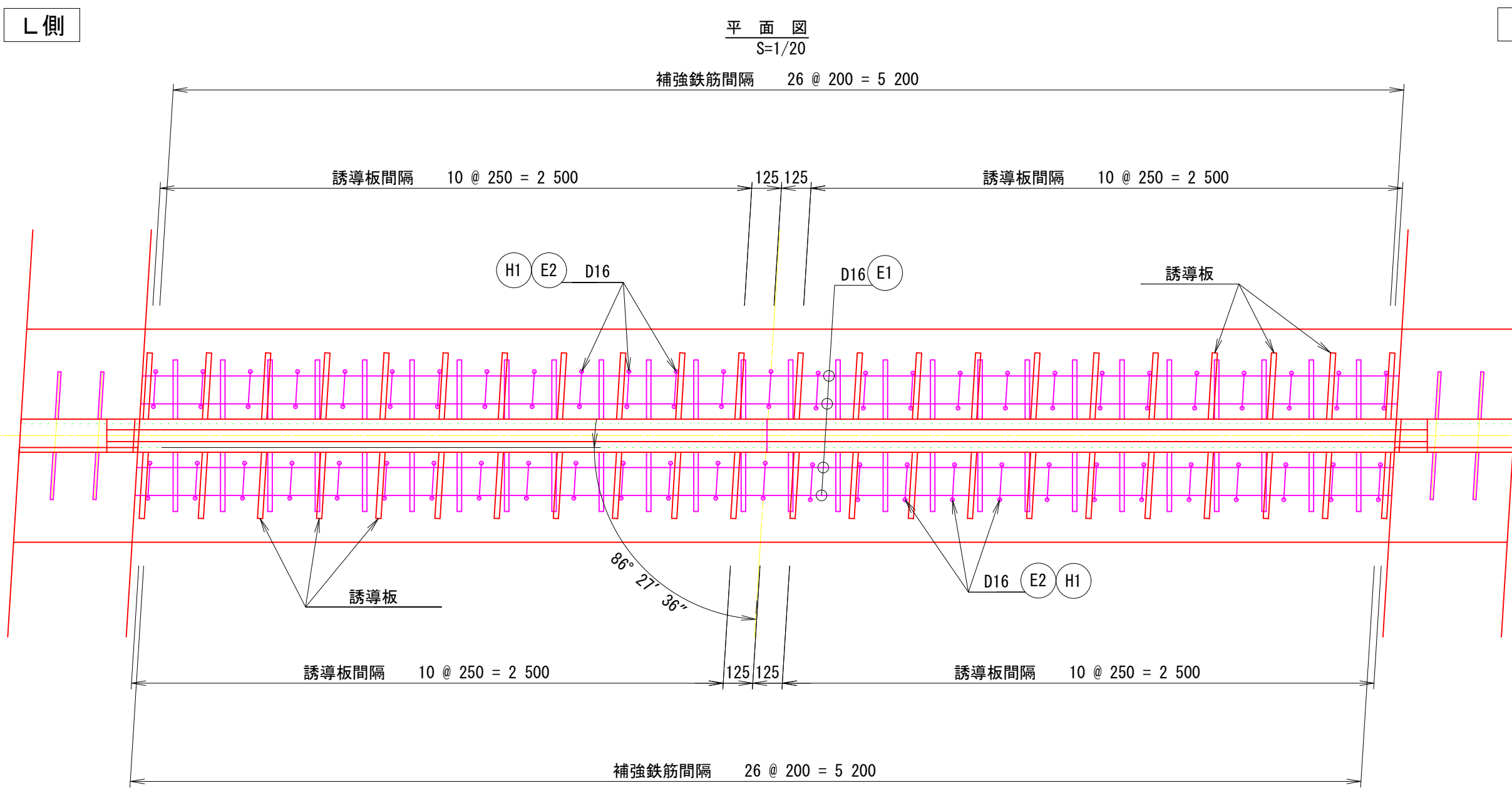
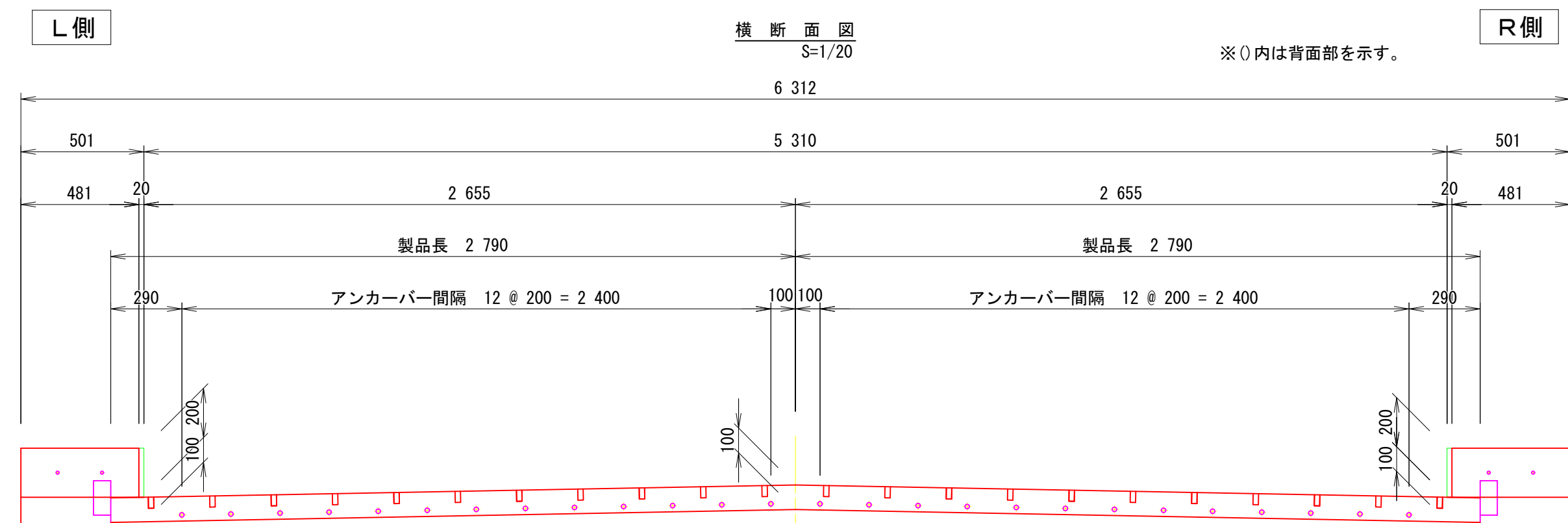
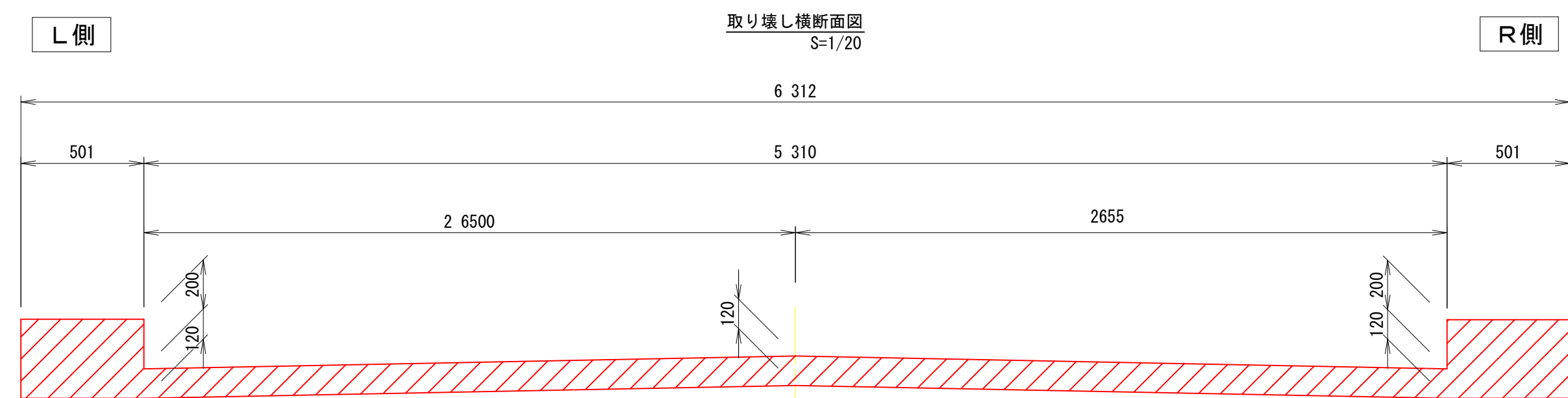


施 工 手 順	
事前調査	ひび割れ幅、延長の計測
下地処理	ダスター側毛、エスプレー等でひび割れを清掃する
塗布・充填・液寄せ	ひび割れへの浸透を自視確認しながらローラー等で数回繰り返す
養生	施工後、1時間程度は雨水に洗い流されない様に養生する
仕上げ・清掃	

- ※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。
 2. 遊離石灰発生箇所は下地処理にて遊離石灰を除去してから施工すること。
 3. 施工時は外気5℃以上で施工を行うこと。

【湖南橋】			
年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(線越)		
図 面 名	床 版 補 修 工 図 (3)		
縮 尺	1 / 50	図面番号	11 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

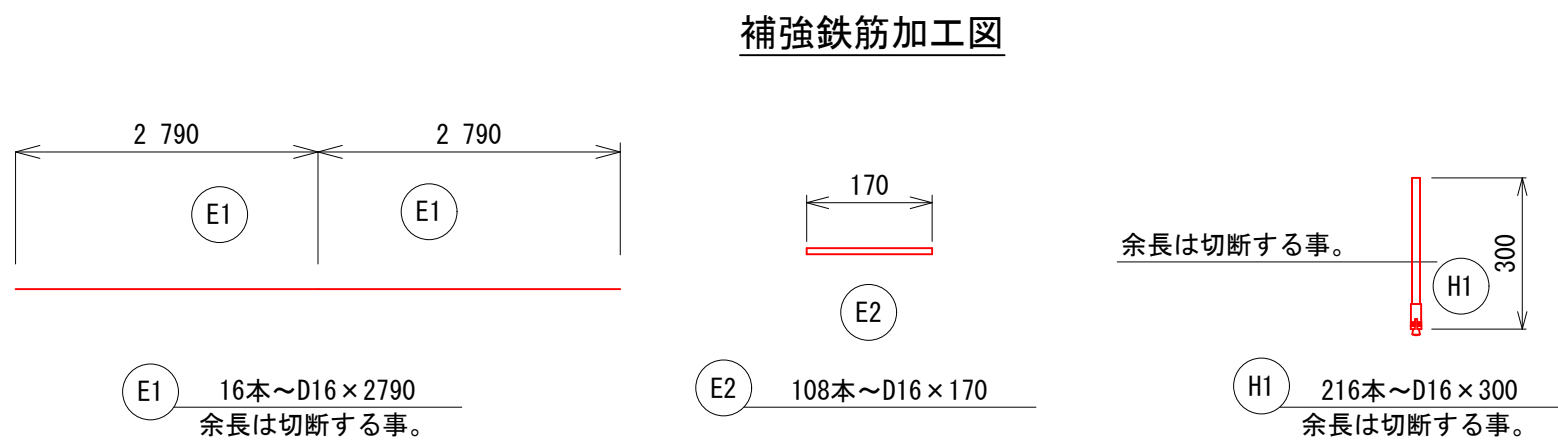
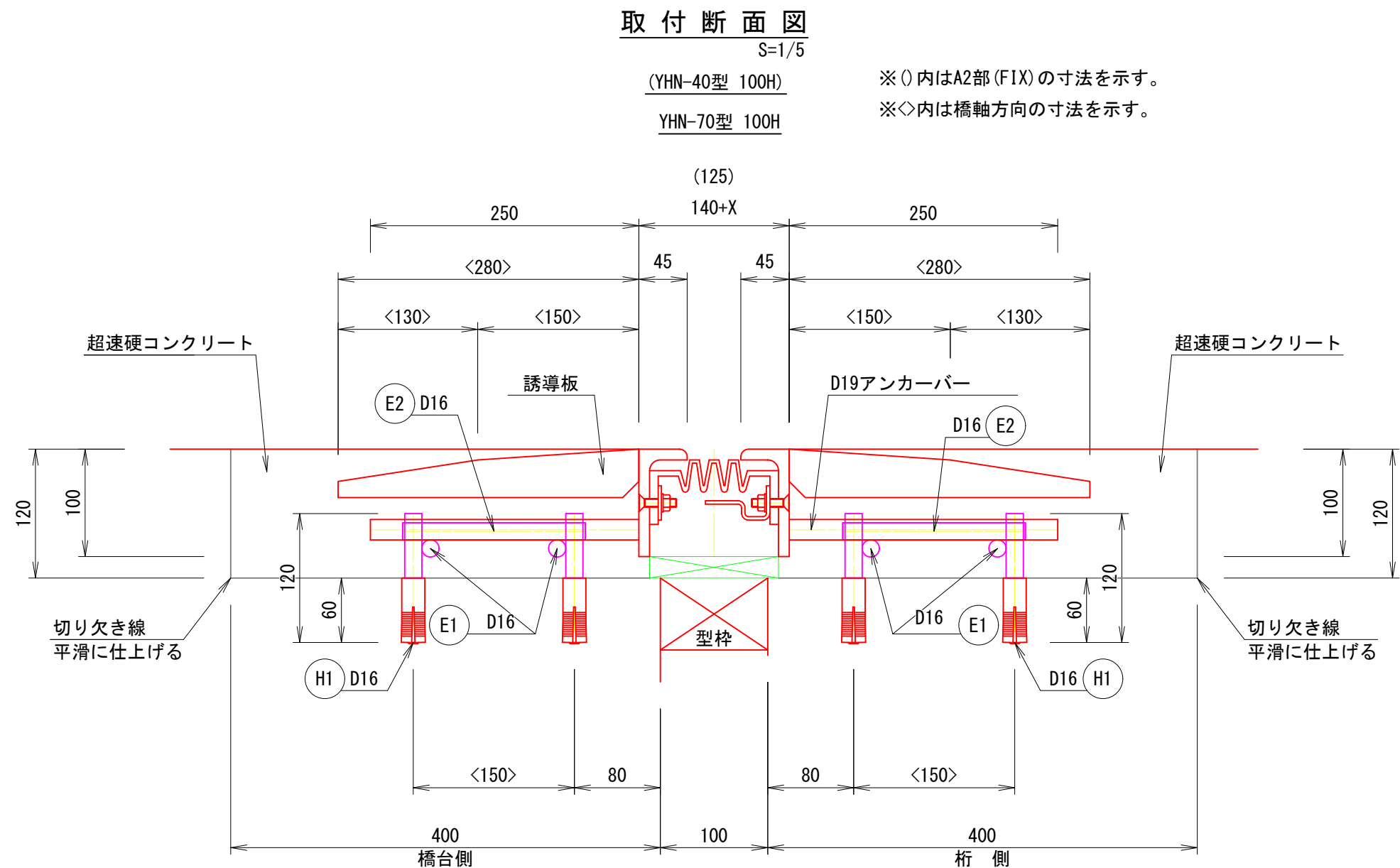
伸縮装置取替え工(1)



※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。

【湖南橋】			
年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託（緑地）		
図 面 名	伸縮装置取替工 (1)		
縮 尺	図 示	図面番号	13 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

伸縮装置取替え工（2）



補強鉄筋材料表

通用	記号	断面	単尺	単重	1本当重量	員数	重量	備考
E1	φ	D16	2790	1.560	4.352	16	69.6	
E2	φ	D16	170	1.560	0.265	108	28.6	
H1	φ	D16	300	---	---	216	---	差筋アンカー
総重量 ---							98.2kg	

※上記、補強鉄筋は伸縮継手に含まない。現場手配とする。

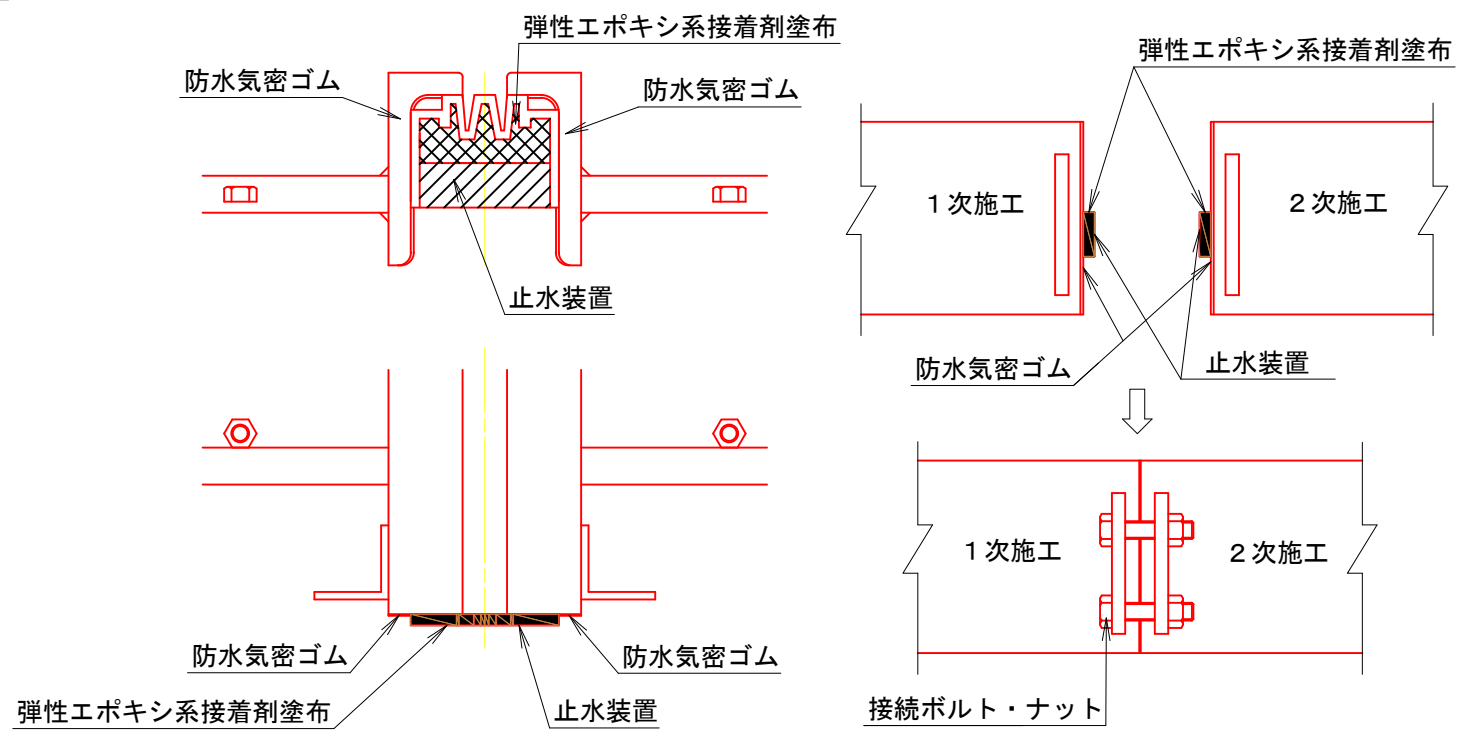
伸縮装置の現場接続方法について

※伸縮装置納入時は車道センターライン（橋梁中心）より一体化する。
（接続部の両側には止水装置が止水ゴム（伸縮ゴム）の下部に
取付けられている。また、地覆側の伸縮装置端部には
立上止水装置が取付けられていることに留意すること。）

- 止水装置の全面、および立上止水装置の側板外側に
弾性エポキシ系接着剤を塗布する。
- 接続ボルトを双方の止水装置が圧着するまで左右均等に締め付ける。
- 地覆伸縮装置を弾性エポキシ系接着剤を塗布した
端部立上止水装置の上から、挟み込む様に取付け、地覆部と
本体伸縮装置の接触面を点溶接した後、点溶接側の
隙間部分にエポキシ系接着剤を塗布する。

※詳細は、製品付属の「施工要領書」を参照の事。

伸縮装置継手部



注 意 事 項

- 施工関連諸寸法は、現地実測により決定する事。
- 既設伸縮装置撤去の際は、床版を取り壊さないようにする事。
- 工事発注後は現橋を十分確認の上、数量等を精査の事。

工事数量表

切 断 (車道部t=50)	5 310 × 2本 × 2ヶ所	21.24m
〃 (地覆部t=50)	501 × 2本 × 4ヶ所	4.01m
合 計 ---		25.25m
取壊し (車道部t=120)	5 310 × 120 × 400 × 2 × 2ヶ所	1.02m ³
〃 (地覆部t=320)	501 × 320 × 400 × 2 × 4ヶ所	0.51m ³
合 計 ---		1.53m ³
既設伸縮装置撤去	6 312 × 2ヶ所	12.62m
伸縮装置取付	(2 790 + 481) × 2 × 2ヶ所	13.08m
超速硬コンクリート (車道部t=120)	5 310 × 120 × 400 × 2 × 2ヶ所	1.02m ³
〃 (地覆部t=320)	501 × 320 × 400 × 2 × 4ヶ所	0.51m ³
合 計 ---		1.53m ³

伸縮装置材料表

型 式	単 尺	本 数	長 さ	適 用	重量 (平均値)
YHN-70型 100H	2 790	2	5 580	A1車道部	46.5kg/m
〃	481	2	962	A1地覆部	
合 計 ---			6m 542		
YHN-40型 100H	2 790	2	5 580	A2車道部	46.2kg/m
〃	481	2	962	A2地覆部	
合 計 ---			6m 542		
誘 導 板	280 × 45 × 22t		88枚		
シーリング材	SC-MS1 200ml × 4ヶ所		800ml	320ml/本 3本使用	

※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略
一般図であり一部推定値を含む。

【湖南橋】

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(繰越)		
図 面 名	伸縮装置取替工(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	14
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

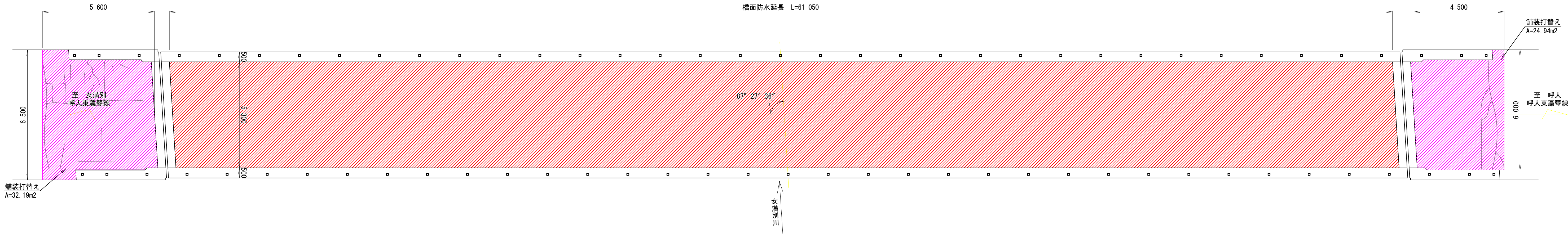
橋 面 防 水 工

A1用紙 1:100

A3用紙 1:200

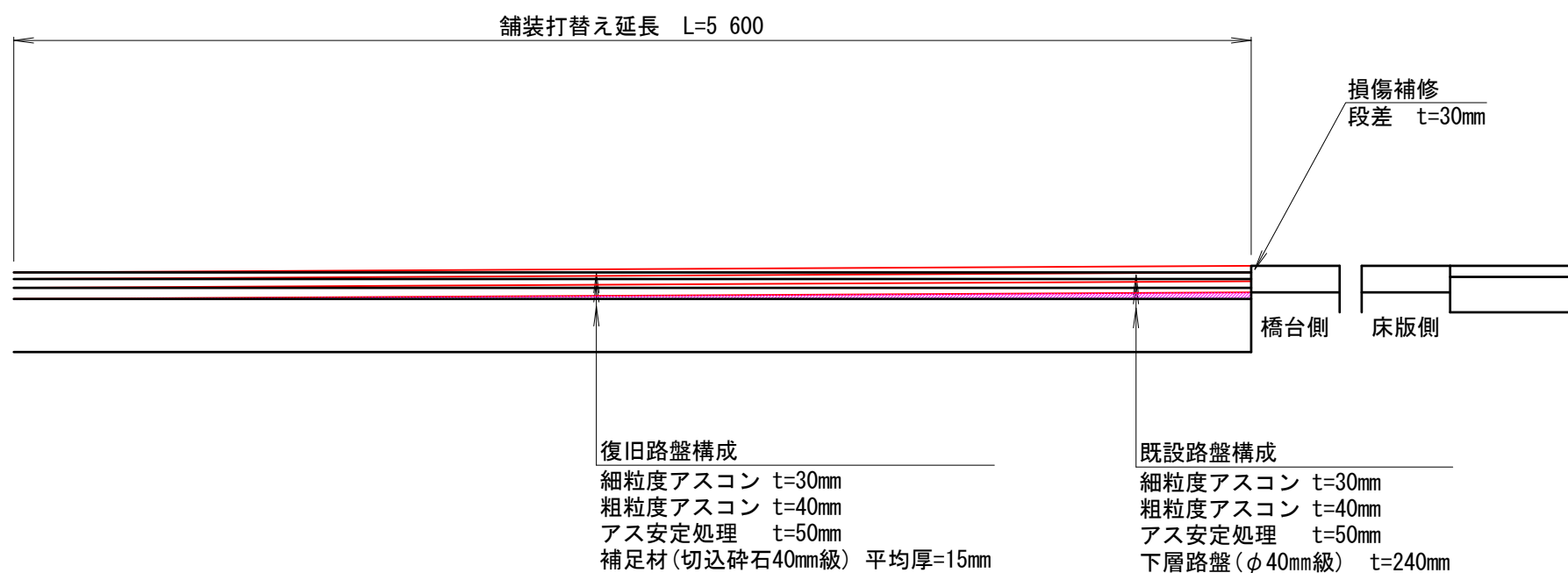
平 面 図

S=1/100



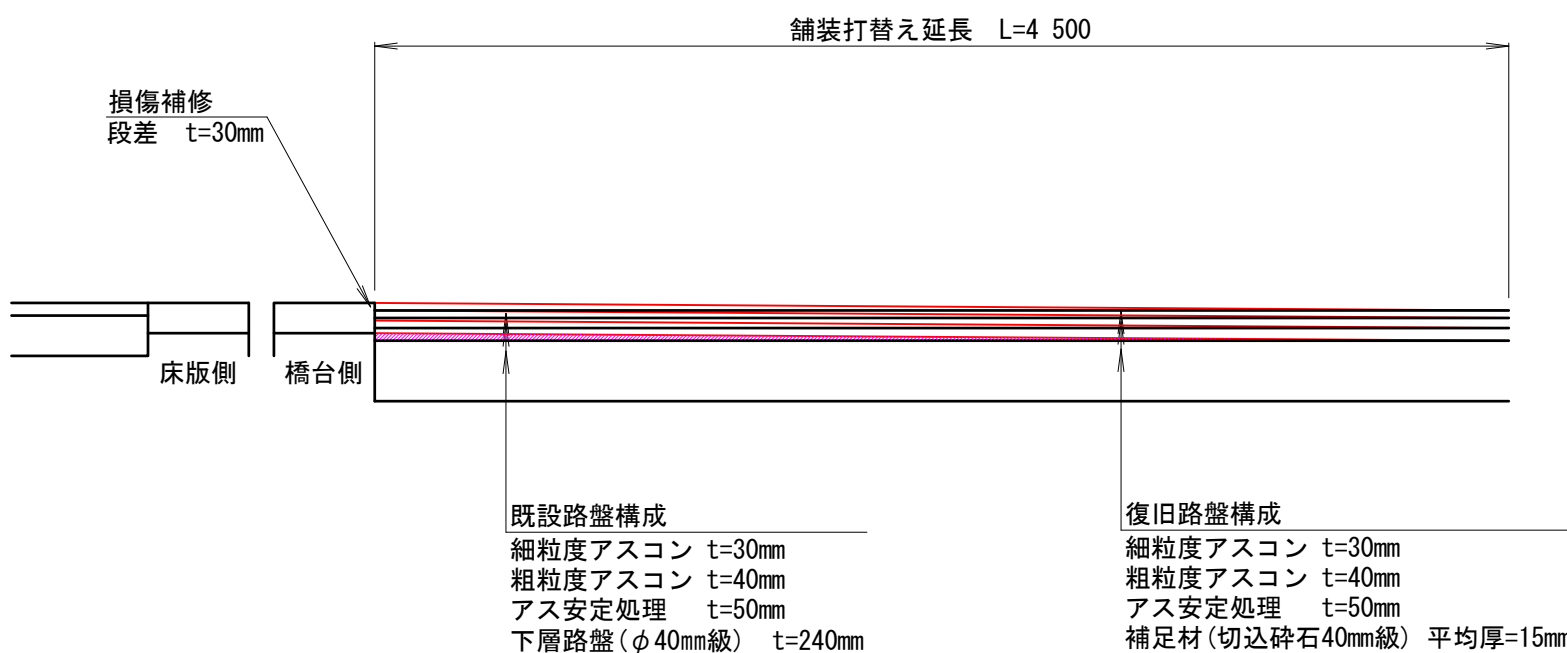
起点側舗装詳細図

S=1/30

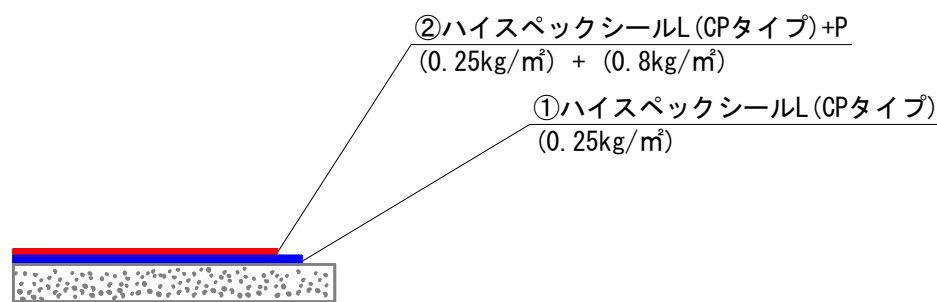


終点側舗装詳細図

S=1/30

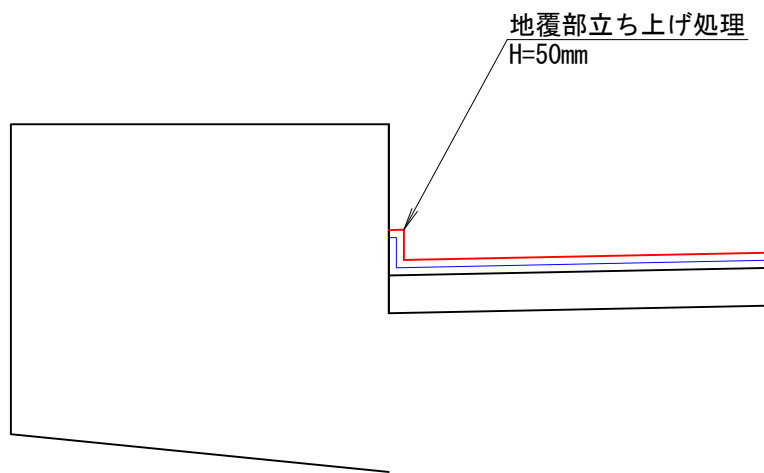


HI-SPECシール工法 (CPタイプ)



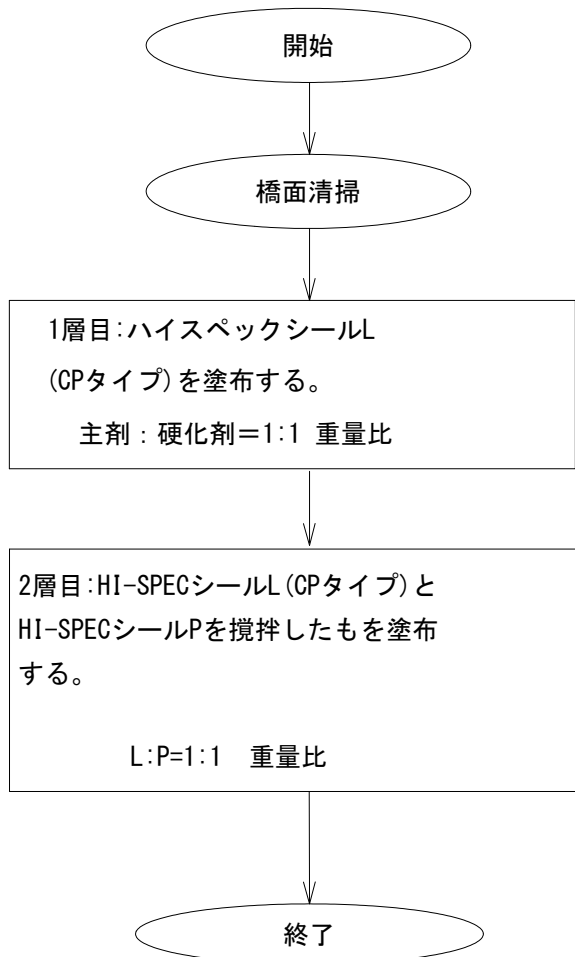
端部処理詳細図

S=1/10



工程および標準使用量

使用材料	標準使用量	工程
①ハイスベックシールL (CP)	0.25kg/m ²	1層目塗布
②ハイスベックシールL (CP)+P	0.8 kg/m ²	2層目塗布



数量計算表

工 程	材 料・名 称	単 位	数 量	備 考
橋 面 防 水 工	ハイスベックシールL (CP)	kg/m ²	61.05 × (5.30 + 0.05 × 2) × 0.25 = 82.42	一層目 0.25kg/m ²
	ハイスベックシールL (CP)+P	kg/m ²	61.05 × (5.30 + 0.05 × 2) × 0.80 = 263.74	二層目 0.8 kg/m ²
舗 装 打 替 え 工	舗 装 版 切 断	m	6.50 + 6.0 = 12.50	細粒度アスコン
	舗 装 版 破 砕	t	(32.19 + 24.94) × 0.12 = 6.85	
	路 盤 復 旧	m2	32.19 + 24.94 = 57.13	細粒度アスコン t=30mm
		m2	32.19 + 24.94 = 57.13	粗粒度アスコン t=40mm
		m2	32.19 + 24.94 = 57.13	アス安定処理 t=50mm
		m2	32.19 + 24.94 = 57.13	補足材 (平均厚) t=15mm

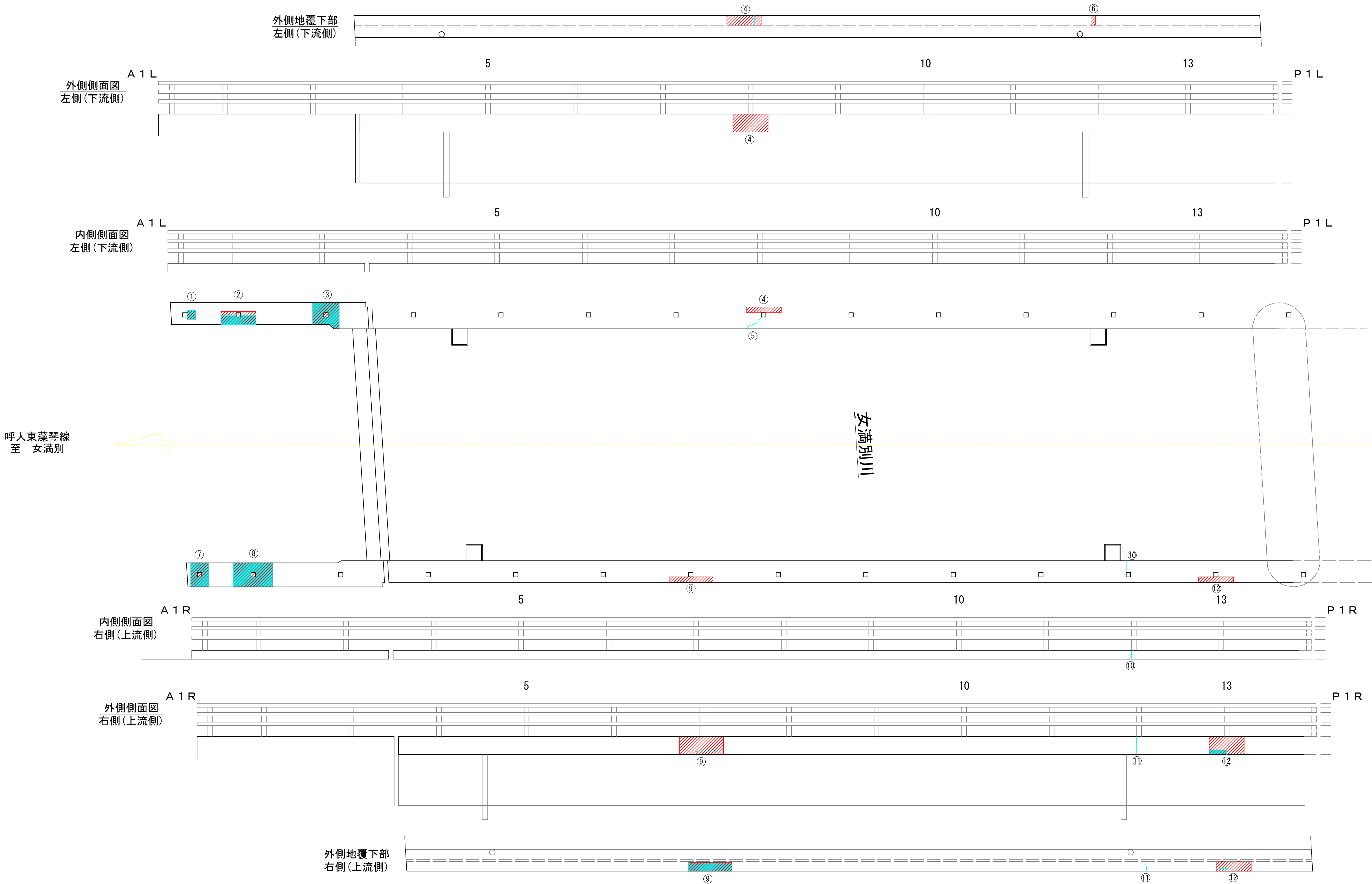
※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。
2. 施工前に橋面舗装の清掃を行い、十分に乾燥させてから施工を行う。

【湖南橋】

年 度	令和 6 年 度		
路線 名	呼人東藻等線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(線越)		
図面 名	橋面防水工		
縮 尺	図 示	図面番号	15 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

地 覆 補 修 工 図 (1)

【第1径間】



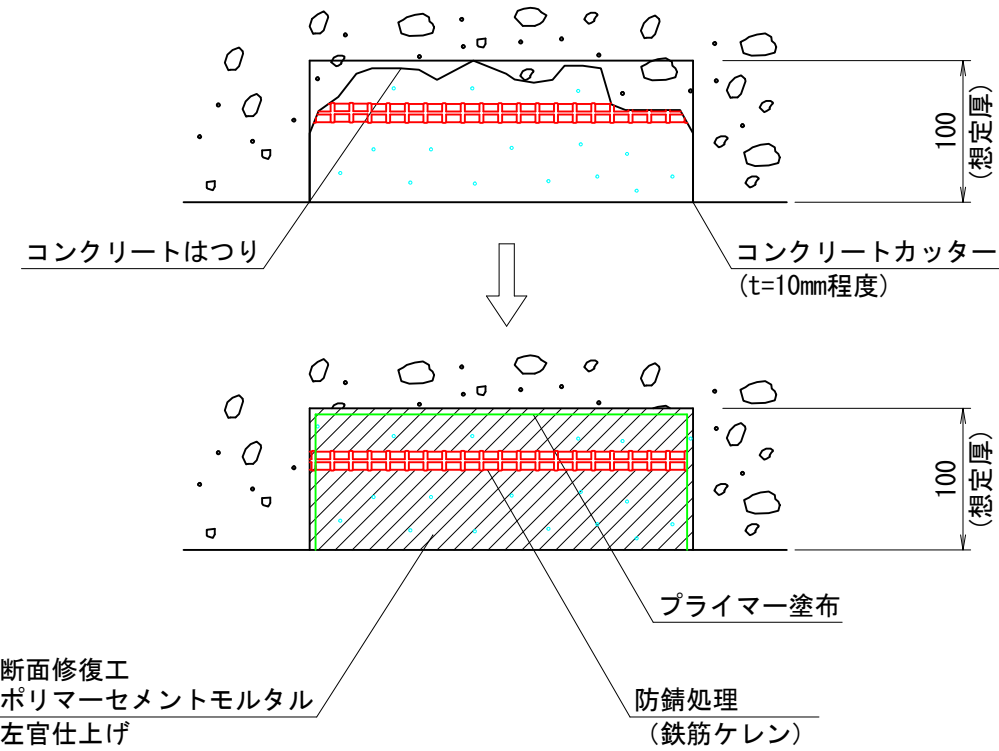
断面修復工（左官工法） 数量表						備 考
番号	延長 (m)	幅 (m)	深さ (m)	面積 (m2)	体積 (m3)	
①	0.20	0.20	0.06	0.04	0.002	ポリマーセメント モルタル
②	0.80	0.20	0.06	0.16	0.010	
③	0.60	0.50	0.06	0.30	0.018	
④	0.80	0.75	0.06	0.60	0.036	
④控除分	0.80	0.20	0.13	-	-0.021	
⑥	0.20	0.10	0.06	0.02	0.001	
⑦	0.50	0.40	0.06	0.20	0.012	
⑧	0.90	0.50	0.06	0.45	0.027	
⑨	1.00	0.95	0.06	0.95	0.057	
⑨控除分	1.00	0.25	0.13	-	-0.033	
⑪	0.80	0.75	0.06	0.60	0.036	
⑪控除分	0.80	0.20	0.13	-	-0.021	
復旧合計	8.40			3.32	0.199	
撤去合計	8.40			2.75	0.125	

ひびわれ(遊離石灰)塗布工法 計算表						備 考
番 号	延長 (m)	遊離石灰 幅 (m)	石灰除去 面積 (m2)	ひびわれ 塗布幅 (m)		
⑤	400	0.10	0.04	0.20		
⑩	400	0.10	0.04	0.20		
⑪	600	0.10	0.06	0.20		
合計	1 400		0.14	0.20		

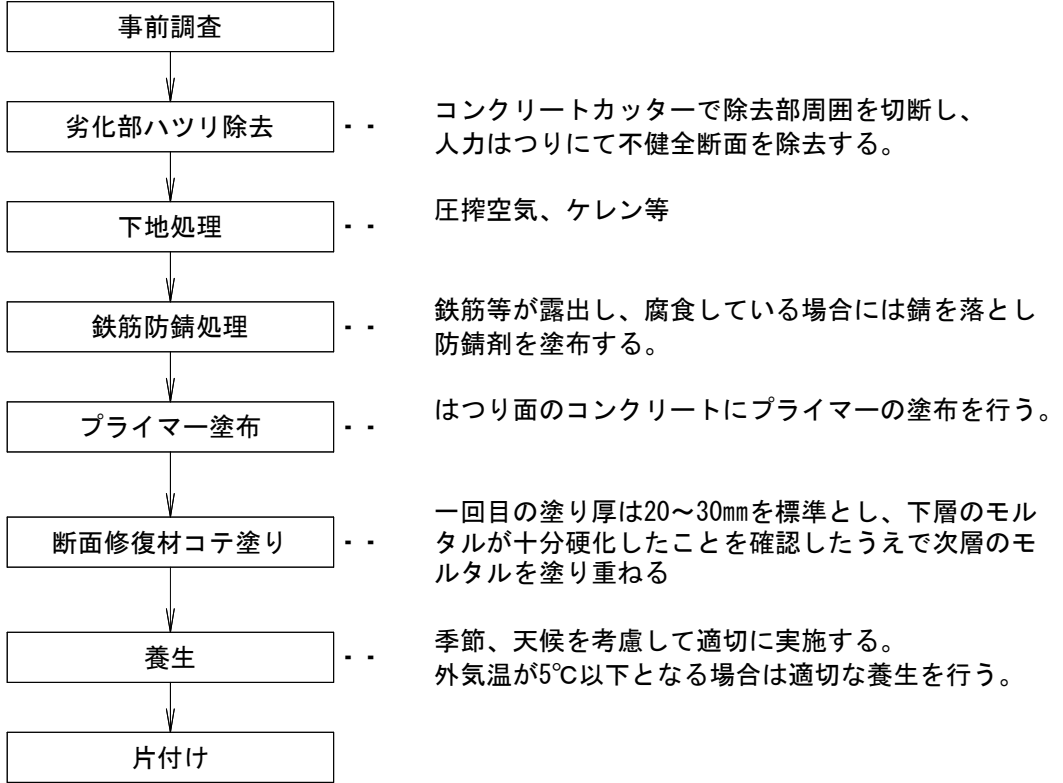
※遊離石灰除去幅は、0.10mを標準とする。

断面修復工 標準図

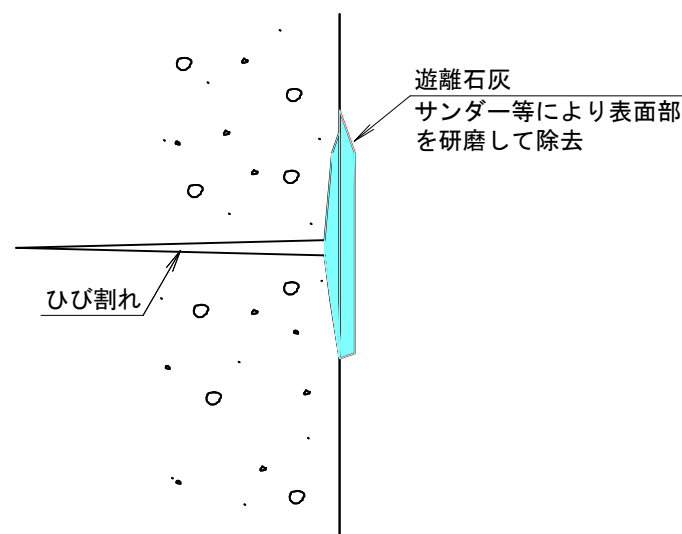
(左官工法)



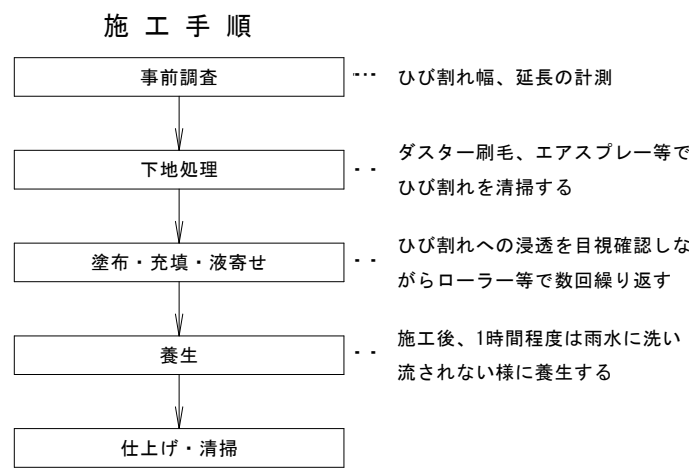
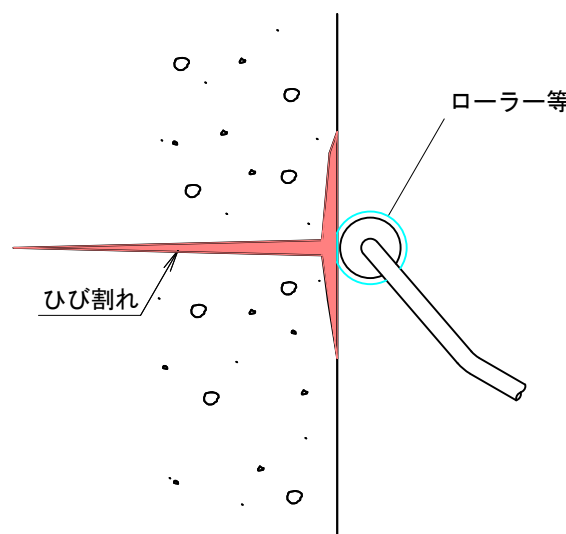
施 工 手 順



遊離石灰除去詳細図



ひび割れ塗布工法詳細図



特記事項

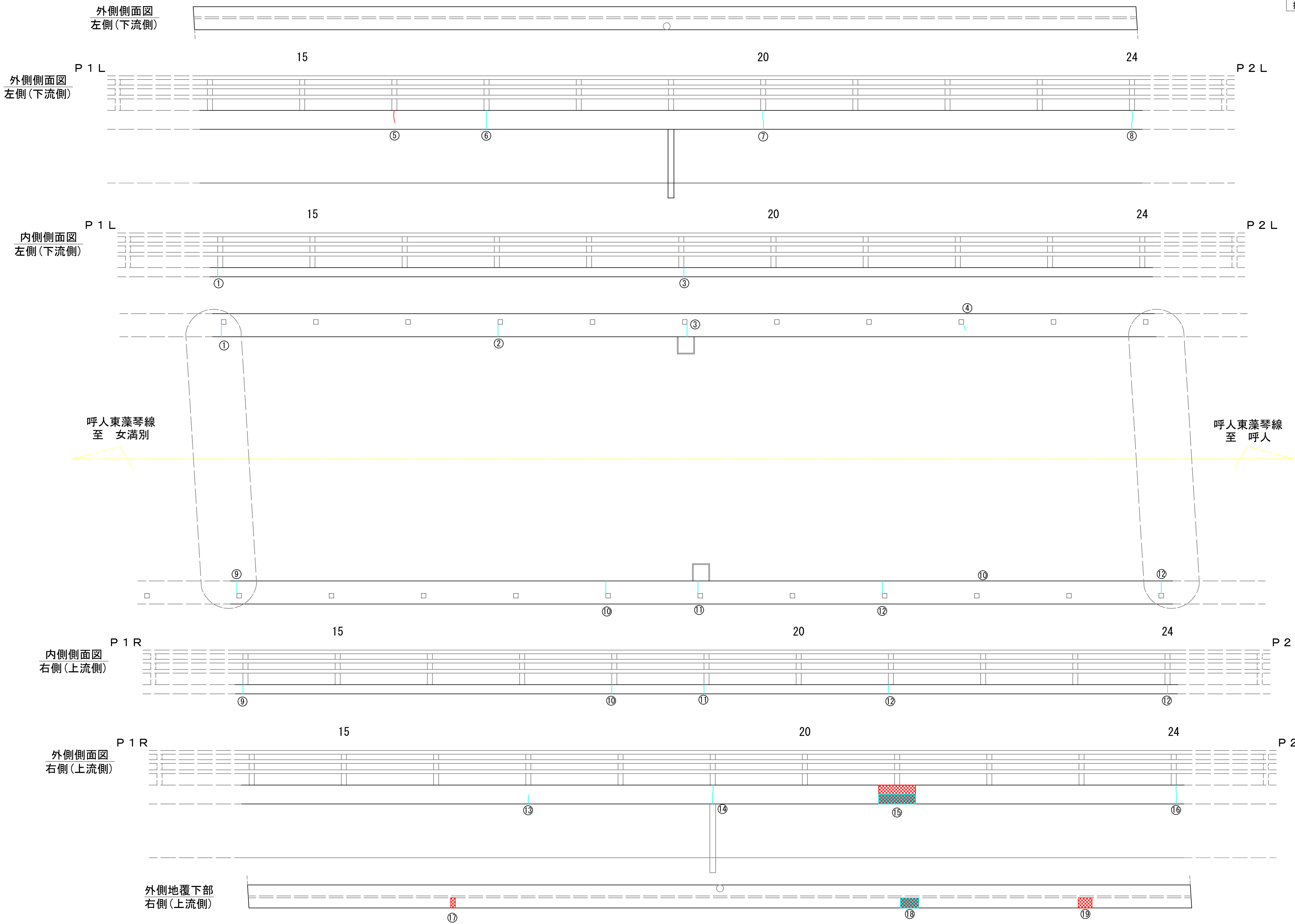
- 本図面は既存資料及び現地踏査から復元した概略一般図であるため、施工前に現地状況の確認・計測を実施し、詳細寸法などを決定すること。
- はつり作業は、既存構造に影響を与えないように留意して施工すること。
- コンクリートはつりの際、鉄筋ケレンの上、防水処理を施したのち、断面修復を行うこと。また、鉄筋かぶり厚ははつりの際に確認し、原形復旧とすること。
- 外気温が+5℃以下になる場合には防寒養生を行うこと。

【湖南橋】

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(線越)		
図 面 名	地 覆 補 修 工 図 (1)		
縮 尺	1 : 50	図面番号	16 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

地 覆 補 修 工 図 (2)

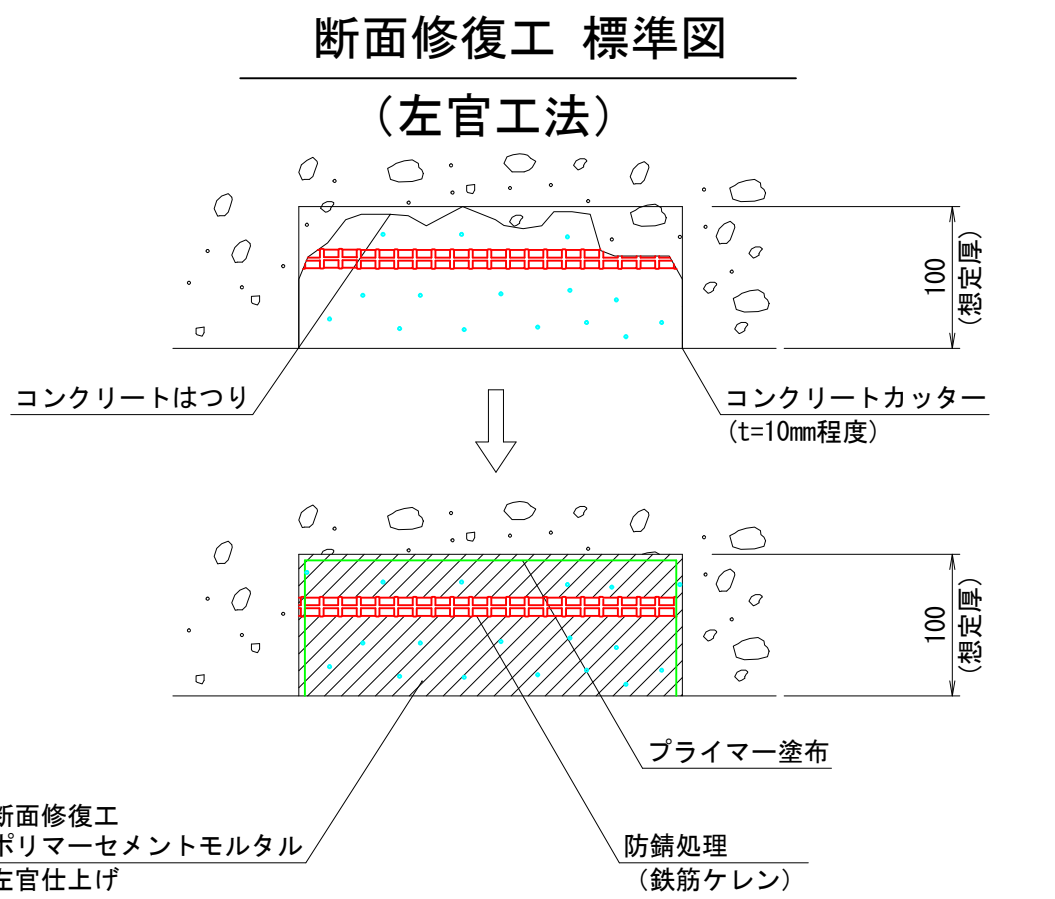
【第2 径間】



断面修復工（左官工法） 数量表						備 考
番号	延長 (m)	幅 (m)	深さ (m)	面積 (m2)	体積 (m3)	
⑮	0.80	0.55	0.06	0.44	0.026	ポリマーセメント
⑮控除分	0.80	0.20	0.13		-0.021	
⑰	0.10	0.20	0.06	0.02	0.001	モルタル
⑱	0.40	0.20	0.06	0.08	0.005	
⑲	0.30	0.20	0.06	0.06	0.004	
復旧合計	2.40			0.60	0.036	
撤去合計	2.40			0.44	0.015	

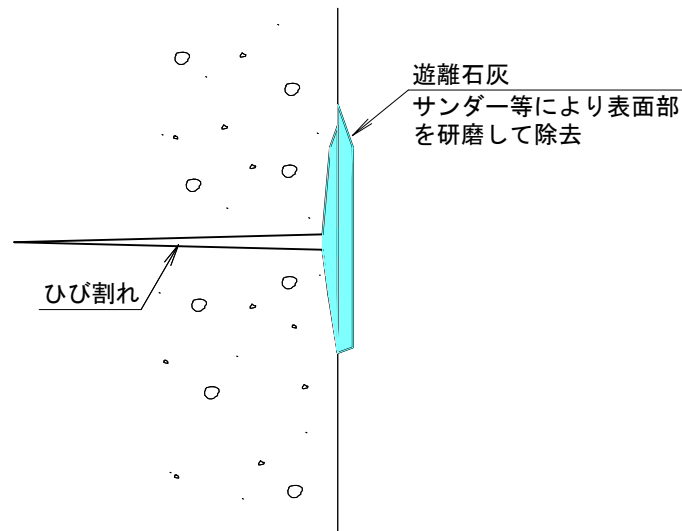
ひびわれ（遊離石灰）塗布工法 計算表					備 考
番 号	延長 (mm)	遊離石灰 幅 (mm)	石灰除去 面積 (m2)	ひびわれ 塗布幅 (mm)	
①	400	0.10	0.04	0.20	
②	500	0.10	0.05	0.20	
③	500	0.10	0.05	0.20	
④	200	0.10	0.02	0.20	
⑤	200	-	-	0.30	
⑥	400	0.10	0.04	0.20	
⑦	300	0.10	0.03	0.20	
⑧	400	0.10	0.04	0.20	
⑨	400	0.10	0.04	0.20	
⑩	400	0.10	0.04	0.20	
⑪	400	0.10	0.04	0.20	
⑫	400	0.10	0.04	0.20	
⑬	200	0.10	0.02	0.20	
⑭	400	0.10	0.04	0.20	
⑮	400	0.10	0.04	0.20	
合計	5 500		0.53	0.20	

※遊離石灰除去幅は、0.10mを標準とする。

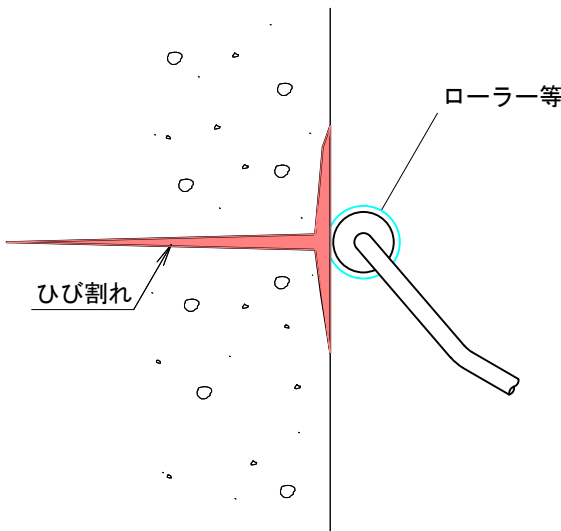


施 工 手 順	
事前調査	
劣化部ハツリ除去	コンクリートカッターで除去部周囲を切断し、人力はつりにて不健全断面を除去する。
下地処理	圧搾空気、ケレン等
鉄筋防錆処理	鉄筋等が露出し、腐食している場合には錆を落とし防錆剤を塗布する。
プライマー塗布	はつり面のコンクリートにプライマーの塗布を行う。
断面修復材コテ塗り	一回目の塗り厚は20～30mmを標準とし、下層のモルタルが十分硬化したことを確認したうえで次層のモルタルを塗り重ねる
養生	季節、天候を考慮して適切に実施する。外気温が5℃以下となる場合は適切な養生を行う。
片付け	

遊離石灰除去詳細図



ひび割れ塗布工法詳細図



施 工 手 順	
事前調査	ひび割れ幅、延長の計測
下地処理	ダスター刷毛、エアブレイ等ではつり割れを清掃する
塗布・充填・液寄せ	ひび割れへの浸透を目視確認しながらローラー等で数回繰り返す
養生	施工後、1時間程度は雨水に洗い流されない様に養生する
仕上げ・清掃	

特記事項

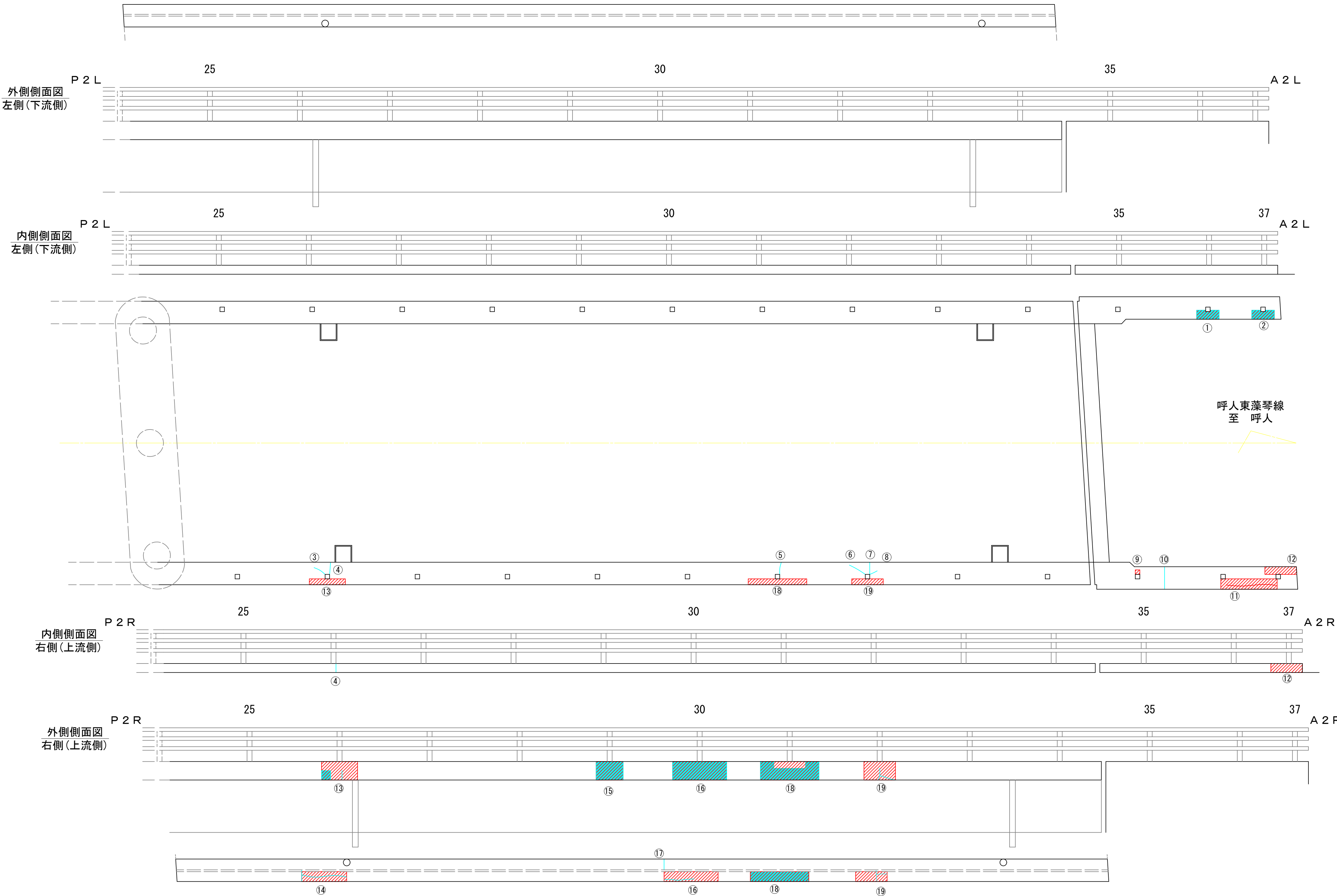
- 本図面は既存資料及び現地踏査から復元した概略一般図であるため、施工前に現地状況の確認・計測を実施し、詳細寸法などを決定すること。
- はつり作業は、既存構造に影響を与えないように留意して施工すること。
- コンクリートはつりの際、鉄筋ケレンの上、防水処理を施したのち、断面修復を行うこと。また、鉄筋がぶり厚ははつりの際を確認し、原形復旧とすること。
- 外気温が+5℃以下になる場合には防寒養生を行うこと。

【湖南橋】

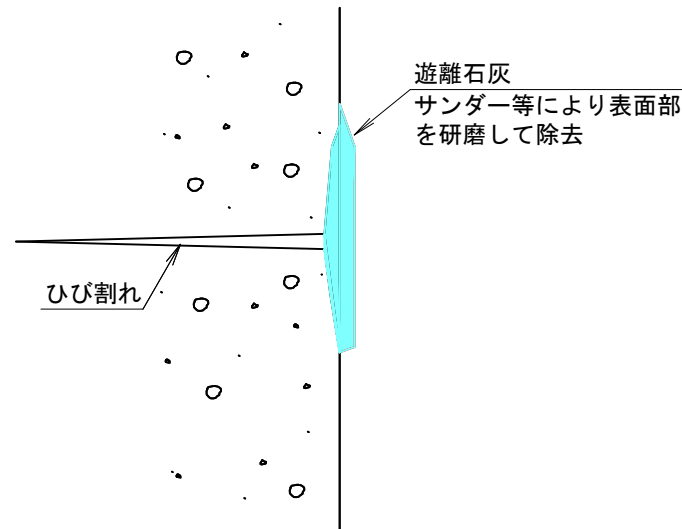
年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(線越)		
図 面 名	地 覆 補 修 工 図 (2)		
縮 尺	1 : 50	図面番号	17 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

地 覆 補 修 工 図 (3)

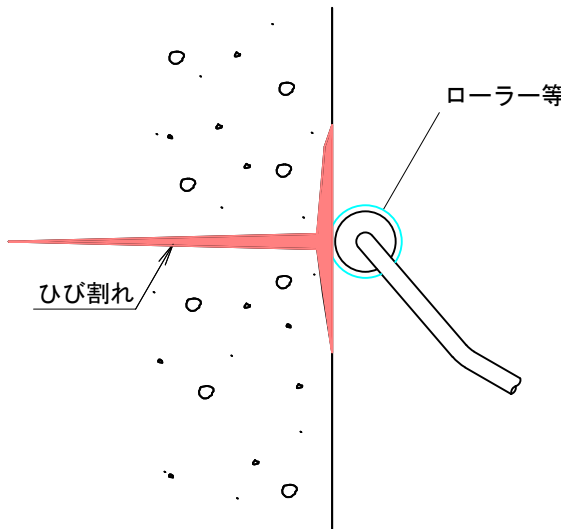
【第3径間】



遊離石灰除去詳細図



ひび割れ塗布工法詳細図



施 工 手 順	
事前調査	ひび割れ幅、延長の計測
下地処理	ダスター・鼠毛、エアスプレー等でひび割れを清掃する
塗布・充填・液寄せ	ひび割れへの浸透を目視確認しながらローラー等で数回繰り返す
養生	施工後、1時間程度は雨水に洗われ流されない様に養生する
仕上げ・清掃	

特記事項

- 本図面は既存資料及び現地踏査から復元した概略一般図であるため、施工前に現地状況の確認・計測を実施し、詳細寸法などを決定すること。
- はつり作業は、既存構造に影響を与えないように留意して施工すること。
- コンクリートははつりの際、鉄筋ケレンの上、防水処理を施したのち、断面修復を行うこと。また、鉄筋かぶり厚ははつりの際に確認し、原形復旧とすること。
- 外気温が+5℃以下になる場合には防寒養生を行うこと。

【湖南橋】

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(線越)		
図 面 名	地 覆 補 修 工 図 (3)		
縮 尺	1 : 50	図面番号	18 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

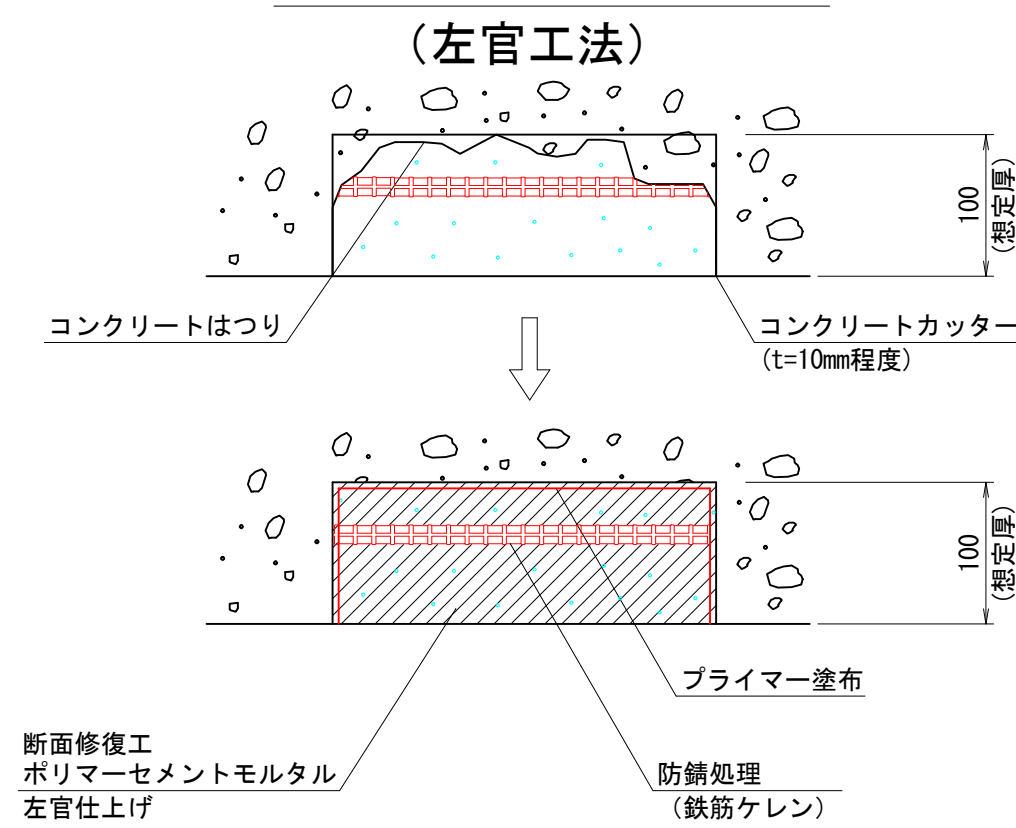
断面修復工（左官工法） 数量表

番号	延長 (m)	幅 (m)	深さ (m)	面積 (m2)	体積 (m3)	備 考
①	0.50	0.20	0.06	0.10	0.006	ポリマーセメントモルタル
②	0.50	0.20	0.06	0.10	0.006	
⑨	0.10	0.10	0.06	0.01	0.001	
⑪	1.25	0.40	0.06	0.50	0.030	
⑫	0.70	0.40	0.06	0.28	0.017	
⑬	0.80	0.55	0.06	0.44	0.026	
⑬控除分	0.80	0.20	0.13	-	-0.021	
⑭	1.00	0.20	0.06	0.20	0.012	
⑮	0.60	0.40	0.06	0.24	0.014	
⑯	1.20	0.60	0.06	0.72	0.043	
⑰	1.30	0.75	0.06	0.98	0.059	
⑰控除分	0.70	0.15	0.13	-	-0.014	
⑱	0.70	0.75	0.06	0.53	0.032	
⑱控除分	0.70	0.15	0.13	-	-0.014	
復旧合計				4.09	0.245	
撤去合計				3.72	0.197	

ひびわれ(遊離石灰)塗布工法 計算表

番 号	延長 (mm)	遊離石灰幅 (mm)	石灰除去面積 (m2)	ひびわれ塗布幅 (mm)	備 考
③	300	100	0.03	0.20	※遊離石灰除去幅は、0.10mを標準とする。
④	400	100	0.04	0.20	
⑤	200	100	0.02	0.20	
⑥	400	100	0.04	0.20	
⑦	250	100	0.03	0.30	
⑧	200	100	0.02	0.20	
⑩	500	100	0.05	0.20	
⑪	300	100	0.03	0.20	
合計	2 550		0.26	0.21	

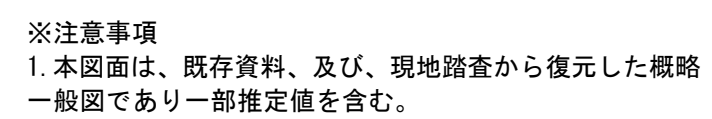
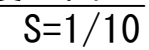
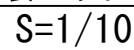
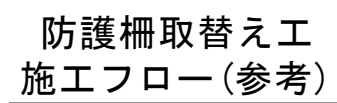
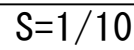
断面修復工 標準図



施 工 手 順

事前調査	
劣化部ハツリ除去	コンクリートカッターで除去部周囲を切断し、人力はつりにて不健全断面を除去する。
下地処理	圧搾空気、ケレン等
鉄筋防錆処理	鉄筋等が露出し、腐食している場合には錆を落とし防錆剤を塗布する。
プライマー塗布	はつり面のコンクリートにプライマーの塗布を行う。
断面修復材コテ塗り	一回目の塗り厚は20～30mmを標準とし、下層のモルタルが十分硬化したことを確認したうえで次層のモルタルを塗り重ねる
養生	季節、天候を考慮して適切に実施する。外気温が5℃以下となる場合は適切な養生を行う。
片付け	

既設防護柵撤去

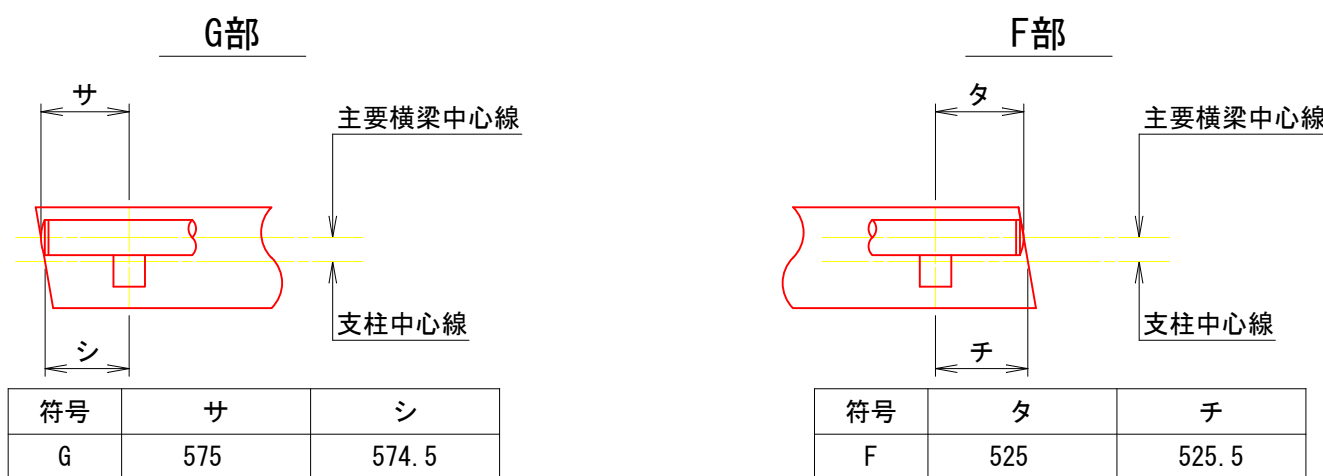
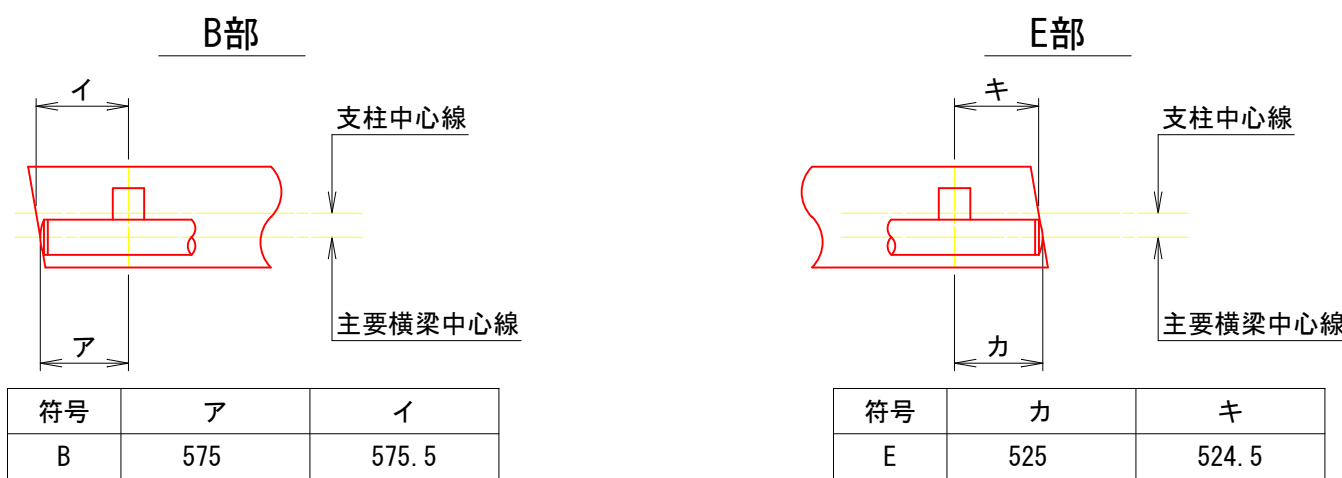
$$S=1/100$$


【湖南橋】			
年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(繰越)		
図 面 名	防護柵設置入工(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	19 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

防護柵取替え工(2)

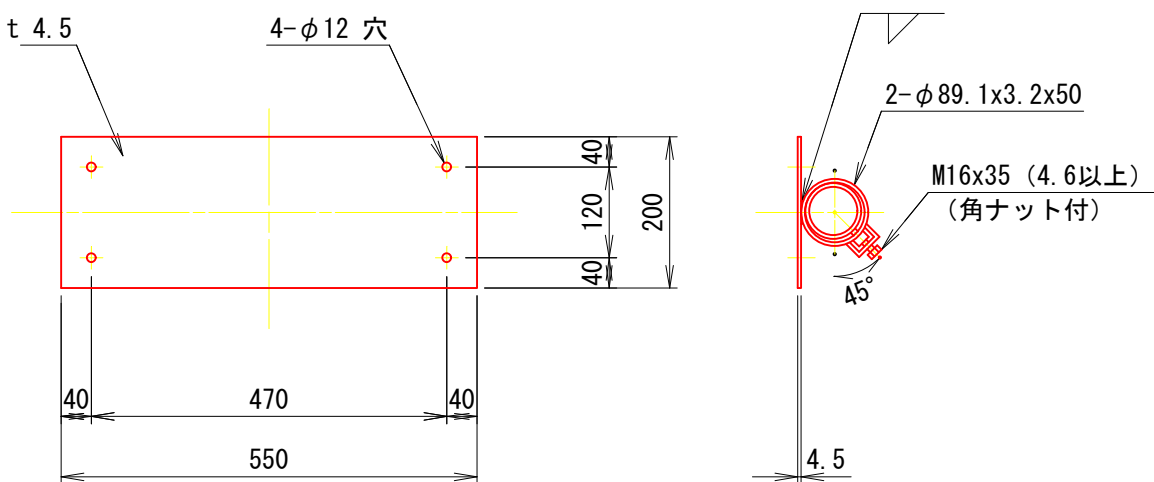
各部詳細図

・アンカーボルトは支柱中心線上で施工の事。



橋名板取付板詳細図

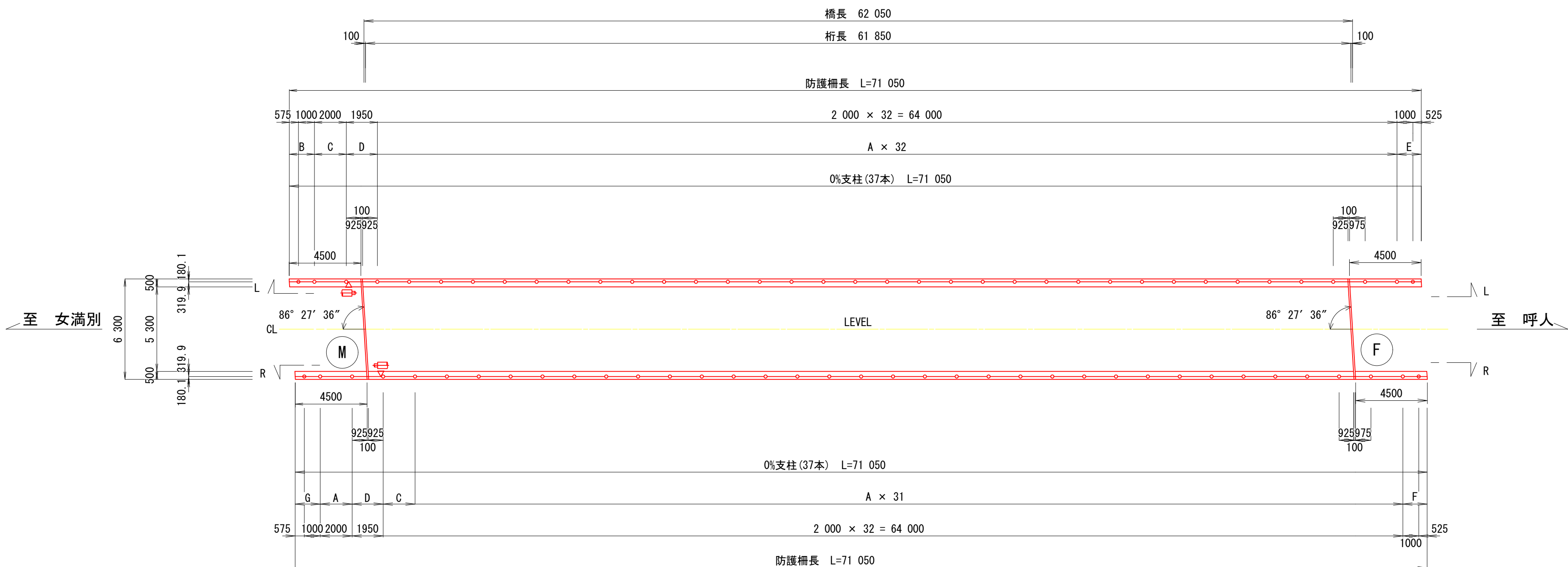
S=1/10



防護柵配置図

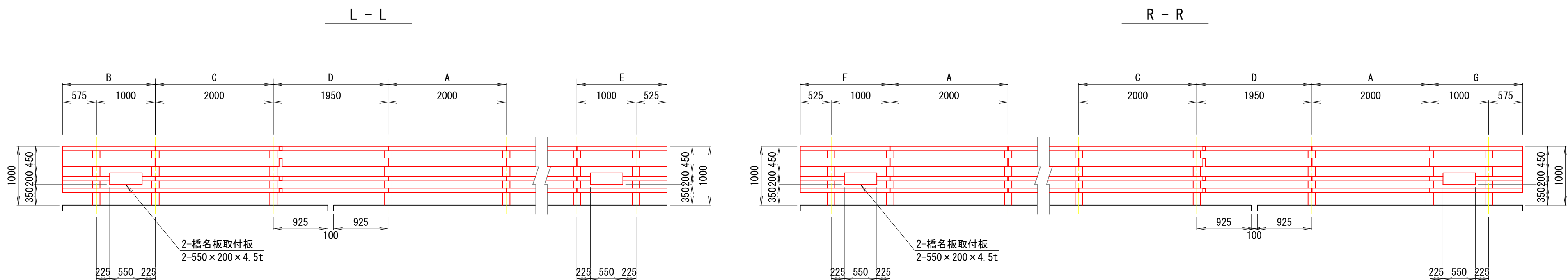
S=1/200

・防護柵長は主要横梁中心線上の実長寸法を示す。



防護柵姿図

S=1/50



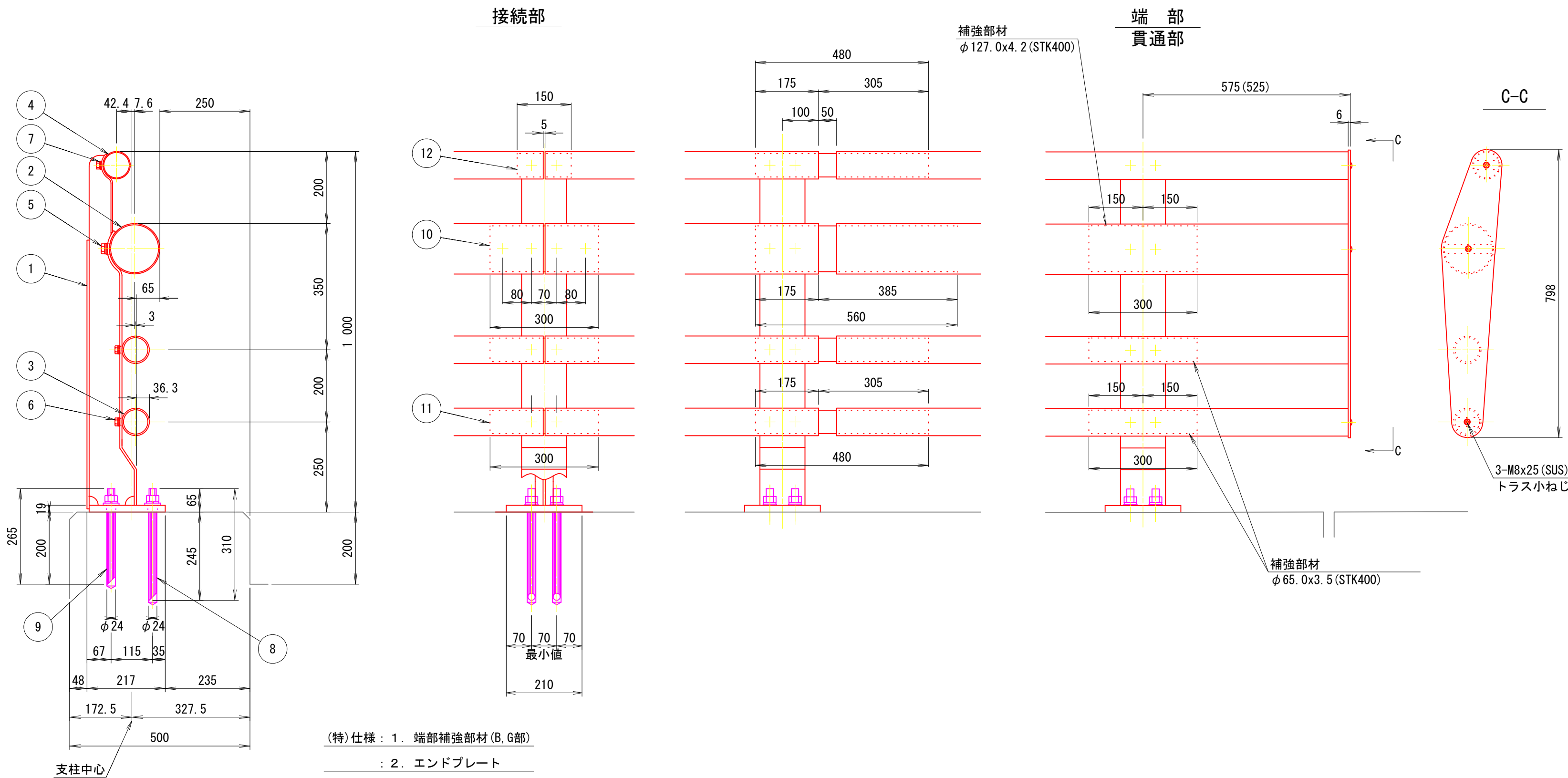
※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。

【湖南橋】

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(繰越)		
図 面 名	防護柵取替え工(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	20 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

防護柵取替え工(3)

高欄兼用車両用防護柵取付詳細図(C種)
S=1/10



材料表 (10m当り)

符号	名 称	寸 法	材 質	単重 (kg/本)	個 数	重量 (kg)	記 事
1	支 柱	217 × 210 (125) × 6.0 × 6.0	SS400	17.6	5	88.0	
2	主要横梁	φ139.8 × 3.5 × 1995.0	STK400	23.5	5	117.5	
3	下段横梁	φ76.3 × 2.8 × 1995.0	STK400	10.1	10	101.0	
4	手 摺	φ76.3 × 2.8 × 1995.0	STK400	10.1	5	50.5	
5	セットボルト	M16 × 35	4.6以上	0.11	20	2.2	PW・SW付
6		M12 × 35	8.8	0.06	20	1.2	PW・SW付
7		M12 × 35	4.6以上	0.06	10	0.6	PW・SW付
8	アンカーボルト	M20 × 310 ケミカルアンカー	8.8	0.79	10	7.9	N (強度区分8) ・ (特) PW・SW付
9		AP-20L ケミカルセッター					
		M20 × 265 ケミカルアンカー	4.6 以上	0.69	10	6.9	N (強度区分8) ・ (特) PW・SW付
		AP-20 ケミカルセッター					
10	スリーブ	φ127.0 × 4.2 × 300	STK400	3.81	5	19.1	主要横梁用
11		φ65.0 × 3.5 × 300	STK400	1.59	10	15.9	下段横梁用
12		φ65.0 × 3.5 × 150	STK400	0.80	5	4.0	手摺用
	合 計			41.5 kg/m	10.000m	414.8	

・防護柵長 = 142.100m 支柱本数=74本

傾斜加工	
曲げ加工	
折れ加工	
支柱加工	
部材加工	端部補強部材 2か所

注記
・本防護柵の設計仕様は『防護柵の設置基準・同解説』（令和3年3月(社)日本道路協会)による。
・N：ナット、PW：平座金、SW：ハネ座金を示す。
・製品の表面処理は「JIS H8641」溶融亜鉛めっき
本体はHDZT 77『主要部材の平均膜厚77μm以上』、
ボルト、ナット類はHDZT 49『平均膜厚49μm以上』とする。

※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。

【湖南橋】

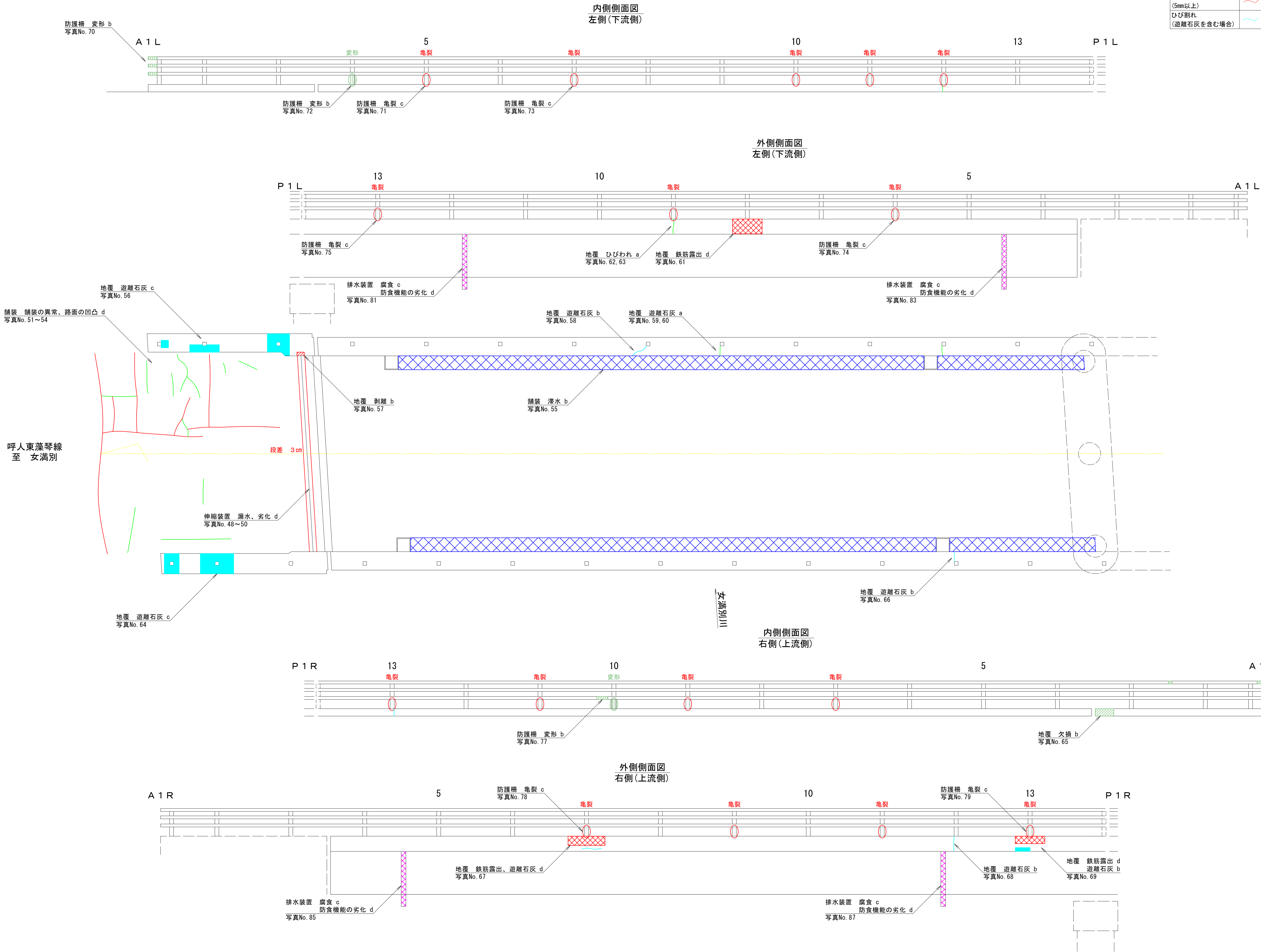
年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(繰越)		
図 面 名	防護柵取替え工(3)		
縮 尺	図 示	図面番号	21 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

橋面工損傷図

【第1 径間】

A1用紙 1: 50

A3用紙 1:100



凡 例(橋面工)			
損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひび割れ (5mm未満)		鉄筋露出	
ひび割れ (5mm以上)		剥 離	
ひび割れ (遊離石灰を含む場合)		欠 損	
		変 形	
		腐 食	
		塗装劣化	
		遊離石灰	
		そ の 他	

凡 例(地覆・防護柵)			
損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひび割れ (0. 20mm未満)		鉄筋露出	
ひび割れ (0. 20mm~0. 30mm未満)		剥 離	
ひび割れ (0. 30mm以上)		欠 損	
ひび割れ (遊離石灰を含む場合)		変 形	
		遊離石灰	
		漏水・滯水	
		変 色	
		腐 食	
		塗装劣化	
		そ の 他	

※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。

【湖南橋】			
年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(縦越)		
図 面 名	橋面工損傷図(第1径間)		
縮 尺	1 : 50	図面番号	29 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

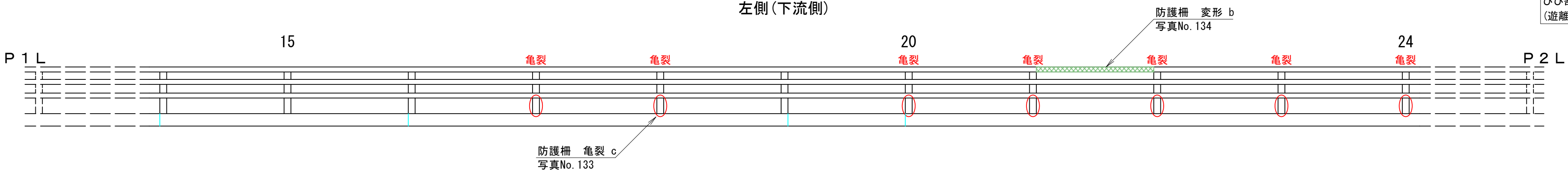
橋面工損傷図

【第2径間】

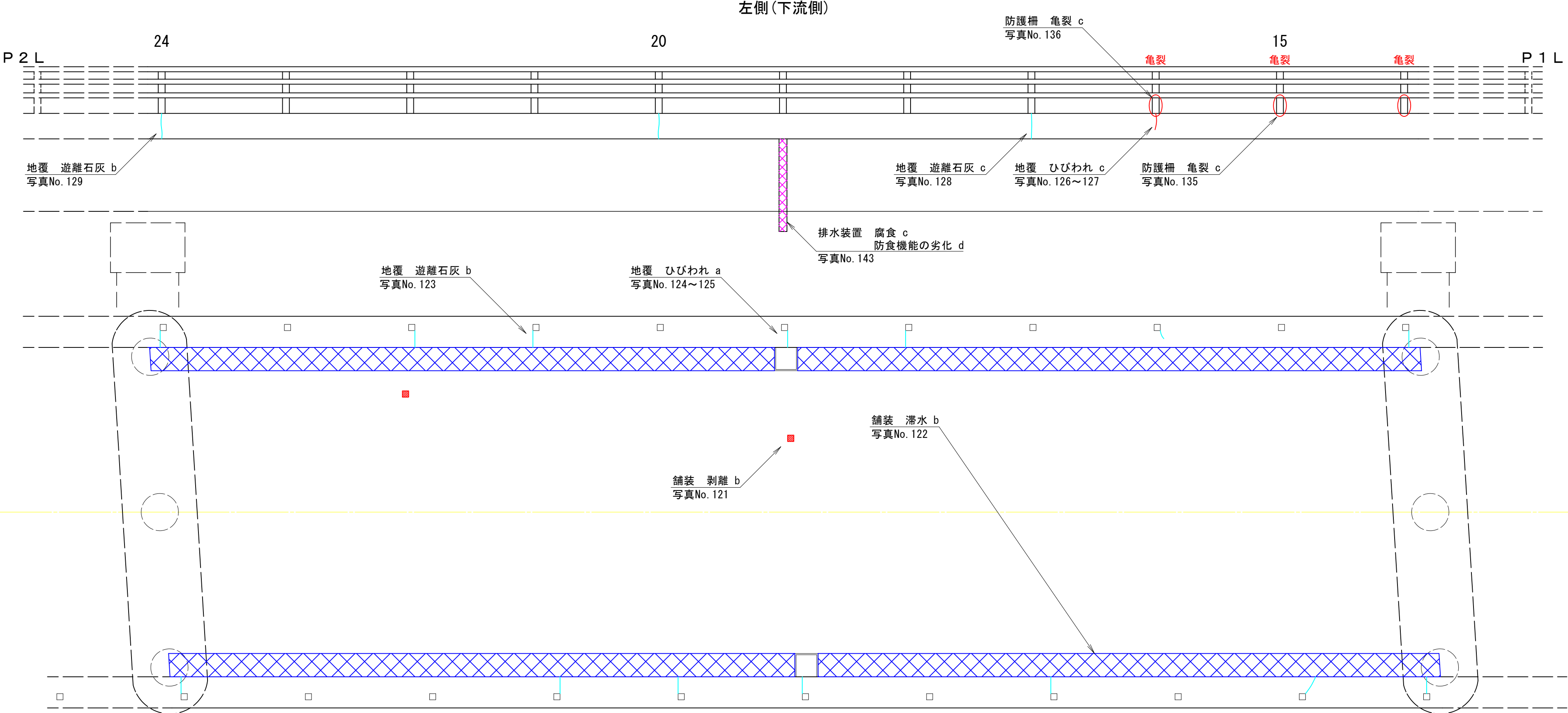
A1用紙 1: 50

A3用紙 1:100

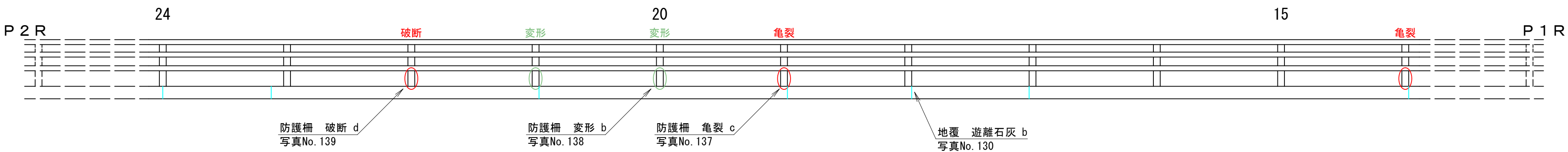
内側側面図
左側(下流側)



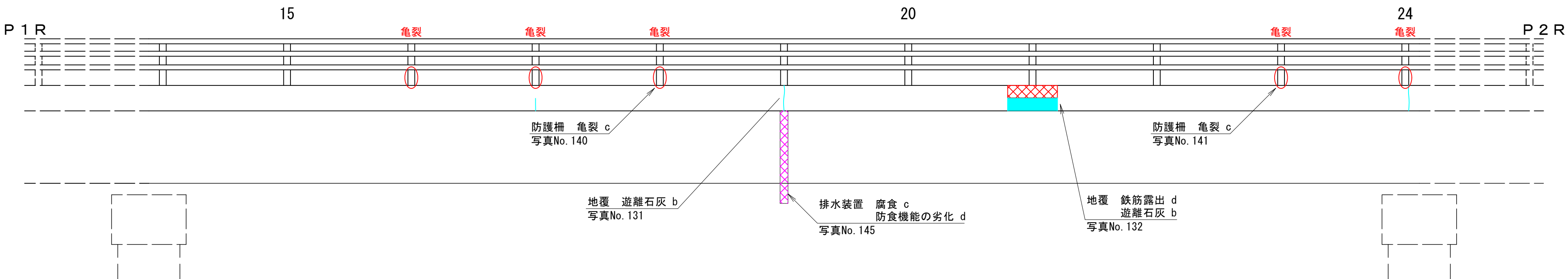
外側側面図
左側(下流側)



内側側面図
右側(上流側)



外側側面図
右側(上流側)



凡 例 (橋面工)

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひび割れ (5mm未満)		鉄筋露出		漏水・滞水	
ひび割れ (5mm以上)		剥 離		変 色	
ひび割れ (遊離石灰を含む場合)		欠 損		腐 食	
		変 形		塗装劣化	
		遊離石灰		そ の 他	

凡 例 (地覆・防護柵)

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひび割れ (0. 20mm未満)		鉄筋露出	
ひび割れ (0. 20mm~0. 30mm未満)		剥 離	
ひび割れ (0. 30mm以上)		欠 損	
ひび割れ (遊離石灰を含む場合)		変 形	
		遊離石灰	
		漏水・滞水	
		変 色	
		腐 食	
		塗装劣化	
		そ の 他	

呼人東藻琴線
至 女満別

呼人東藻琴線
至 呼人

※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。

【湖南橋】

年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(線越)		
図 面 名	橋面工損傷図(第2径間)		
縮 尺	1:50	図面番号	30 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

橋面工損傷図

【第3径間】

A1用紙 1: 50

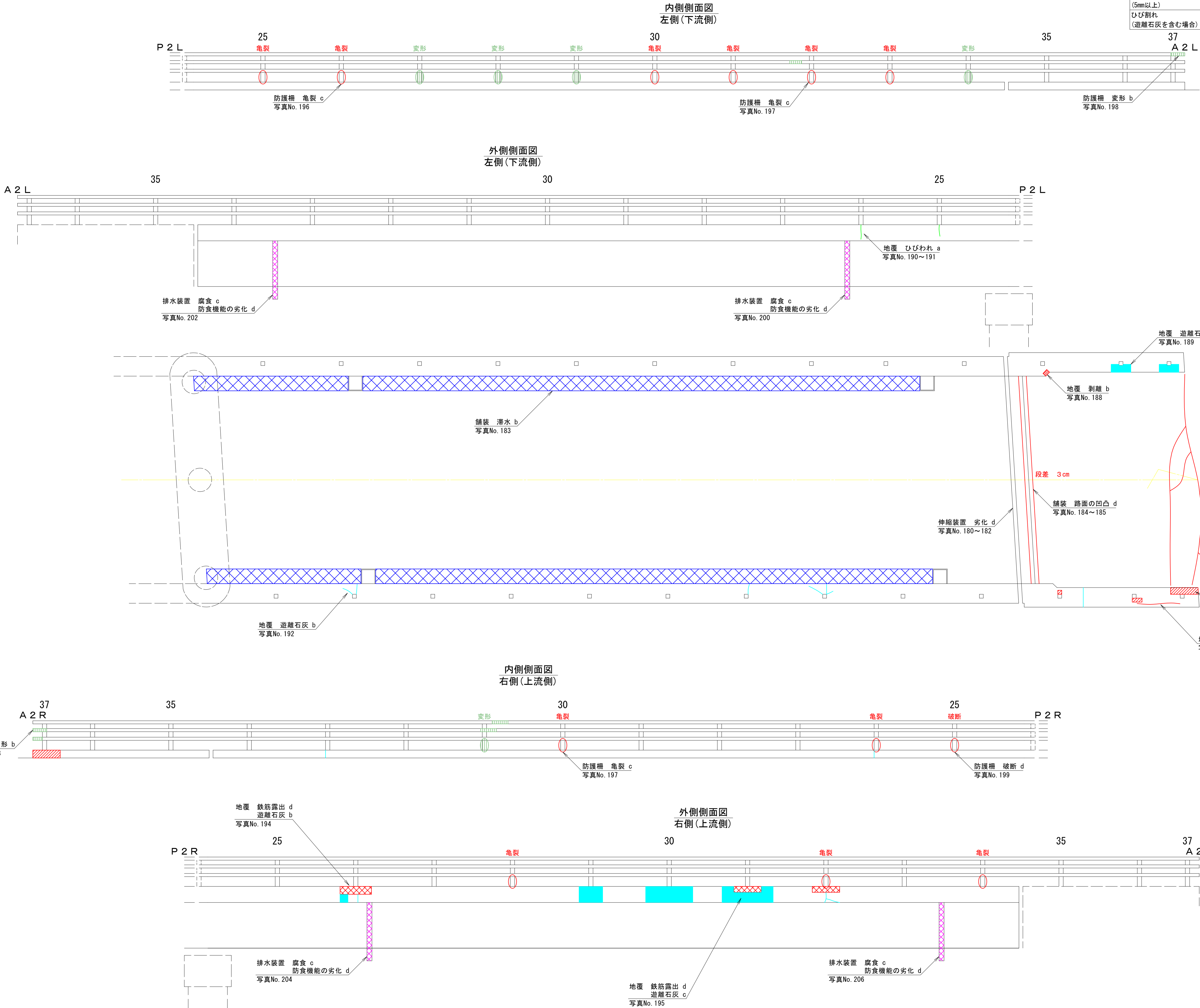
A3用紙 1:100

凡 例 (橋面工)

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひび割れ (5mm未満)		鉄筋露出	
ひび割れ (5mm以上)		剥 離	
ひび割れ (遊離石灰を含む場合)		変 形	
		欠 損	
		変 形	
		遊離石灰	
		漏水・滞水	
		変 色	
		腐 食	
		塗装劣化	
		そ の 他	

凡 例 (地覆・防護柵)

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひび割れ (0. 20mm未満)		鉄筋露出	
ひび割れ (0. 20mm～0. 30mm未満)		剥 離	
ひび割れ (0. 30mm以上)		変 形	
ひび割れ (遊離石灰を含む場合)		遊離石灰	
		漏水・滞水	
		変 色	
		腐 食	
		塗装劣化	
		そ の 他	



※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。

【湖南橋】

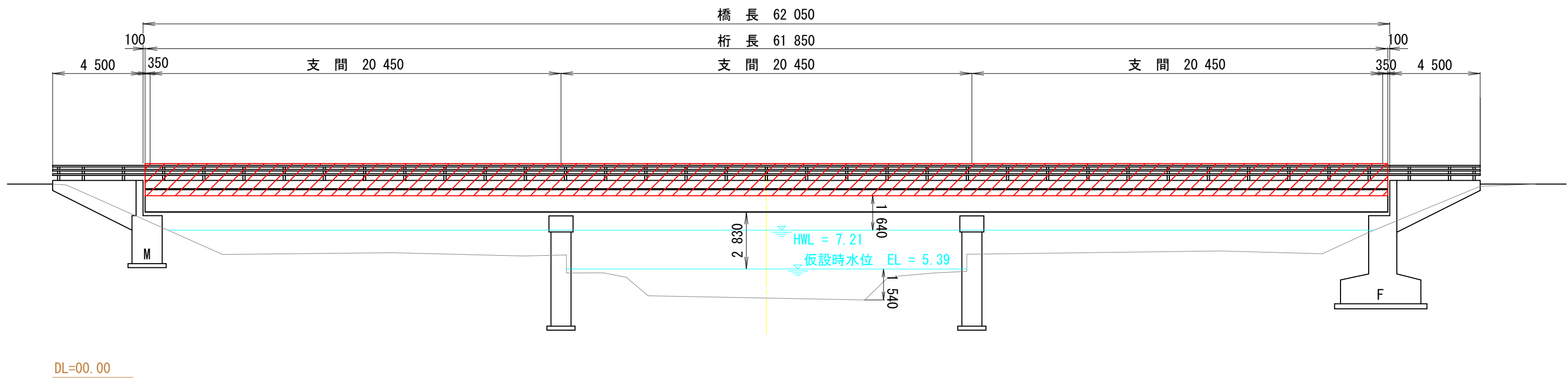
年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(線越)		
図 面 名	橋面工損傷図(第3径間)		
縮 尺	1 : 50	図面番号	31 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			

仮設参考図

【湖南橋】

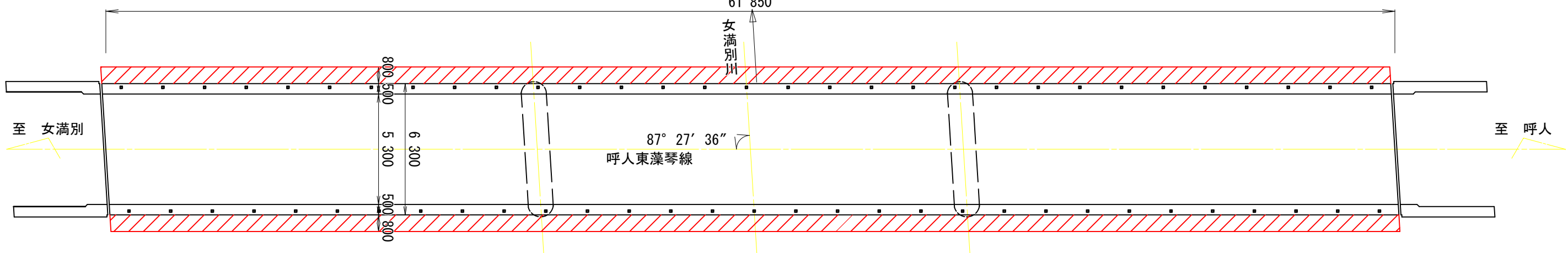
側面図

S=1/200



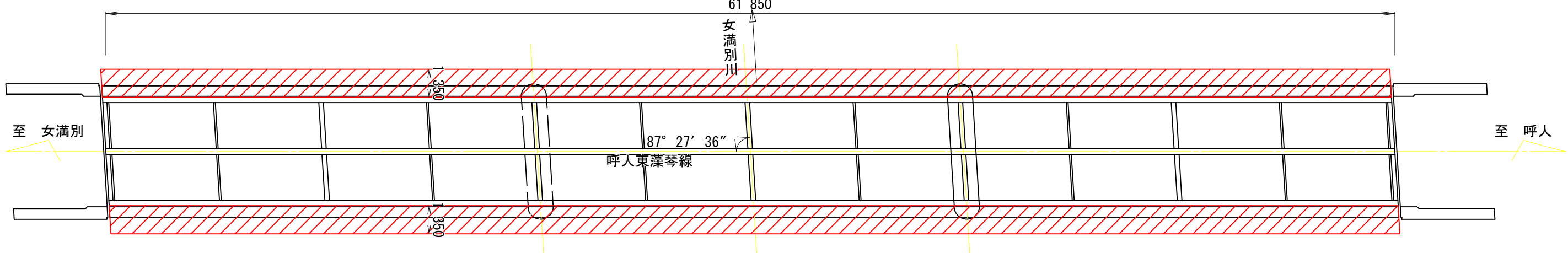
平面図

S=1/200



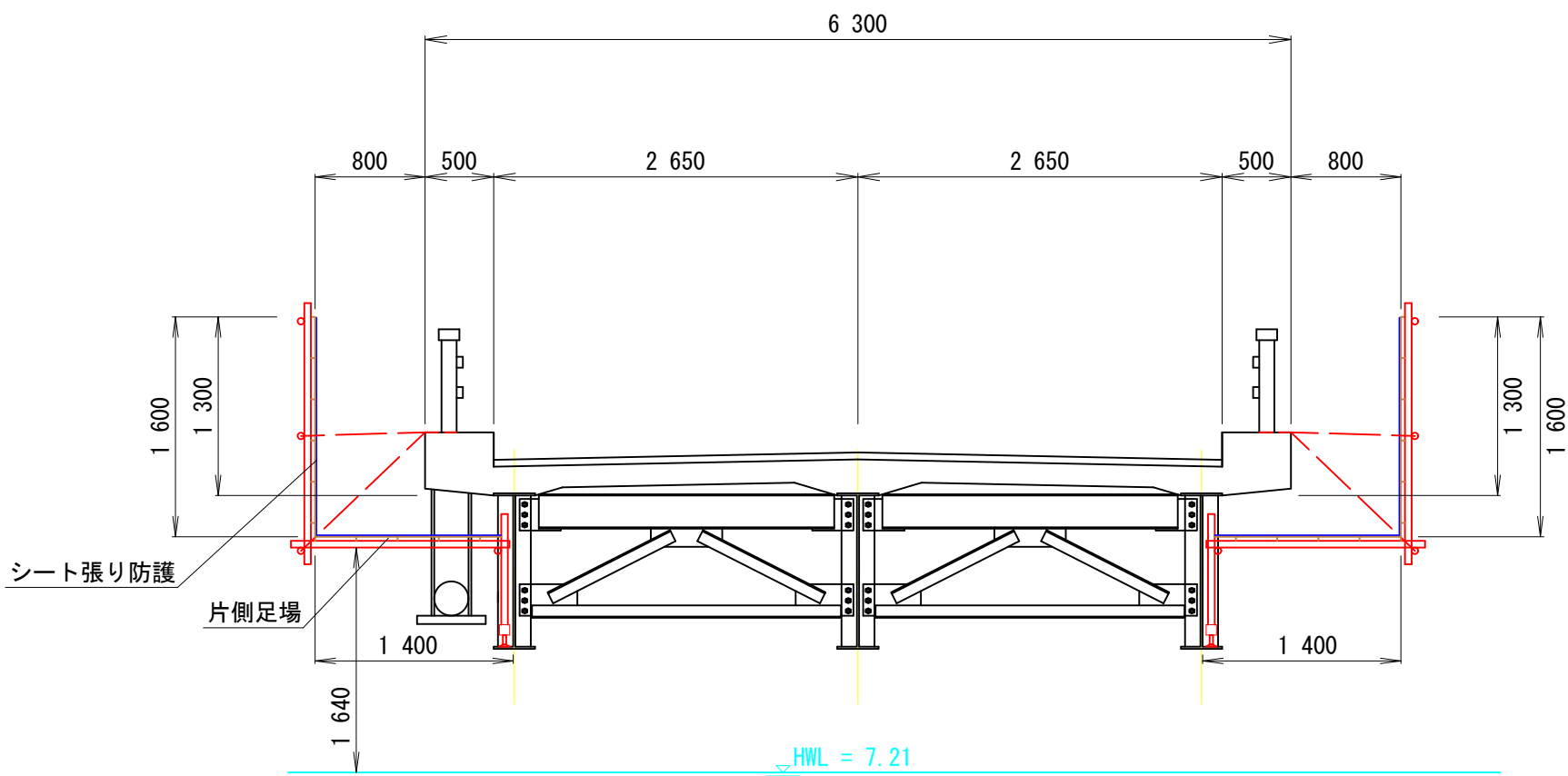
足場設置参考図

S=1/200



断面図

S=1/50



橋梁諸元表

橋 梁 名	湖南橋		
路 線	呼人東藻琴線		
交 差 物	女満別川		
竣工年	上部工	1977年	
	下部工	1977年	
示 方 書	昭和47年示方書		
活 荷 重	TL-14 (S31)		
橋 長	62.050m		
桁 長	61.350m		
支 間	20.450m @ 3		
全 幅 員	6.300m		
有効幅員	5.300m		
上部工型式	3径間連続プレートガーダー		
下部工型式	逆T式橋台		
基礎形式	杭基礎		
支承	鋼支承		
伸縮装置	突合せ型		
平面線形	87° 27' 36"		
縦断勾配	横断勾配	LEVEL	2.0%

準備工
↓
足場工・防護工設置
↓
地覆断面修復工
↓
防護柵取替工
↓
伸縮装置取替工
↓
橋面防水工
↓
足場工・防護工撤去
↓
後片付け

※注意事項
1. 本図面は、既存資料、及び、現地踏査から復元した概略一般図であり一部推定値を含む。
2. 本図面はあくまで参考図である。現地状況を確認して状況に応じた仮設を採用すること。

【湖南橋】			
年 度	令和 6 年 度		
路 線 名	呼人東藻琴線		
工 事 名	湖南橋補修設計委託(繰越)		
図 面 名	仮 設 参 考 図		
縮 尺	図 示	図面番号	32 / 33
作成年月	令和 6 年 8 月		
会 社 名	株式会社 北社設計		
網 走 市 役 所			